
赤穂市
在宅介護実態調査
報告書

令和5年3月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 配布数及び有効回答数・回答率	1
(4) 留意点	1
2. 対象者の属性	2
(1) 性別、年齢、要介護度	2
(2) 調査の回答者	2
(3) 世帯類型	3
(4) 要介護認定申請のきっかけ	4
3. 家族等による介護について	5
(1) 介護の頻度	5
(2) 主な介護者の属性	6
(3) 主な介護者が行う介護の内容	11
(4) 介護離職	15
(5) 介護についての相談相手	20
4. 支援・サービスについて	22
(1) 介護保険サービス以外の支援・サービス	22
(2) 介護保険サービス	26
(3) 施設等への入所・入居の検討状況	29
(4) 医療的な支援・サービス	30
5. 今後について	33
(1) 在宅介護が困難になる要因	33
(2) 今後の生活の希望	34
6. 在宅生活継続に向けた5つの検討項目における集計結果	38
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	39
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの検討	47
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	52
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	58
(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	61
(6) 総括	63

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査では、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「第9期赤穂市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の策定にあたり、赤穂市において高齢者が安心して自宅での生活を続けられ、家族など介護者の方が仕事を続けられるための介護サービスの在り方を検討することを目的として実施しました。

(2) 調査の実施について

以下の調査を実施しました。

調査名	在宅介護実態調査
対象者	赤穂市内にお住まいの高齢者1,000人（要支援・要介護認定を受けている65歳以上の方と介護をしている方の中から無作為に抽出した方）
実施期間	令和5年1月16日（月）～令和5年2月6日（月）
実施方法	郵送配布、郵送回収

※対象者：令和4年12月1日現在

(3) 配布数及び有効回答数・回答率

	全体
配布数	1,000件
有効回答数	689件
有効回答率	68.9%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer)、3LA (3 Limited Answer) と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
4. 厚労省が推奨する在宅介護実態調査の自動集計分析ソフト（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社作成）を用いて、回答結果と認定データを突合・集計しています。

2. 対象者の属性

(1) 性別、年齢、要介護度

単位：件

全体		689
性・年齢	男性 前期高齢者	40
	後期高齢者	177
	女性 前期高齢者	34
	後期高齢者	438
要介護度	要支援 1	194
	要支援 2	141
	要介護 1	176
	要介護 2	80
	要介護 3	38
	要介護 4	31
	要介護 5	29

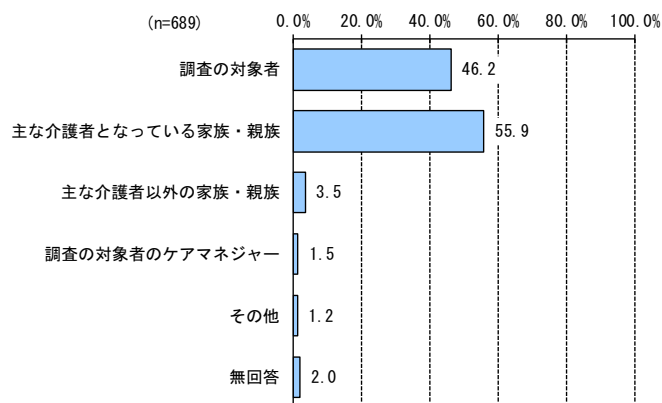
(2) 調査の回答者

- 問1 現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか。(いくつでも)

【全体】

- 回答者について、「主な介護者となっている家族・親族」が55.9%で最も多く、次いで「調査の対象者」が46.2%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.5%となっています。

【回答者(MA)】

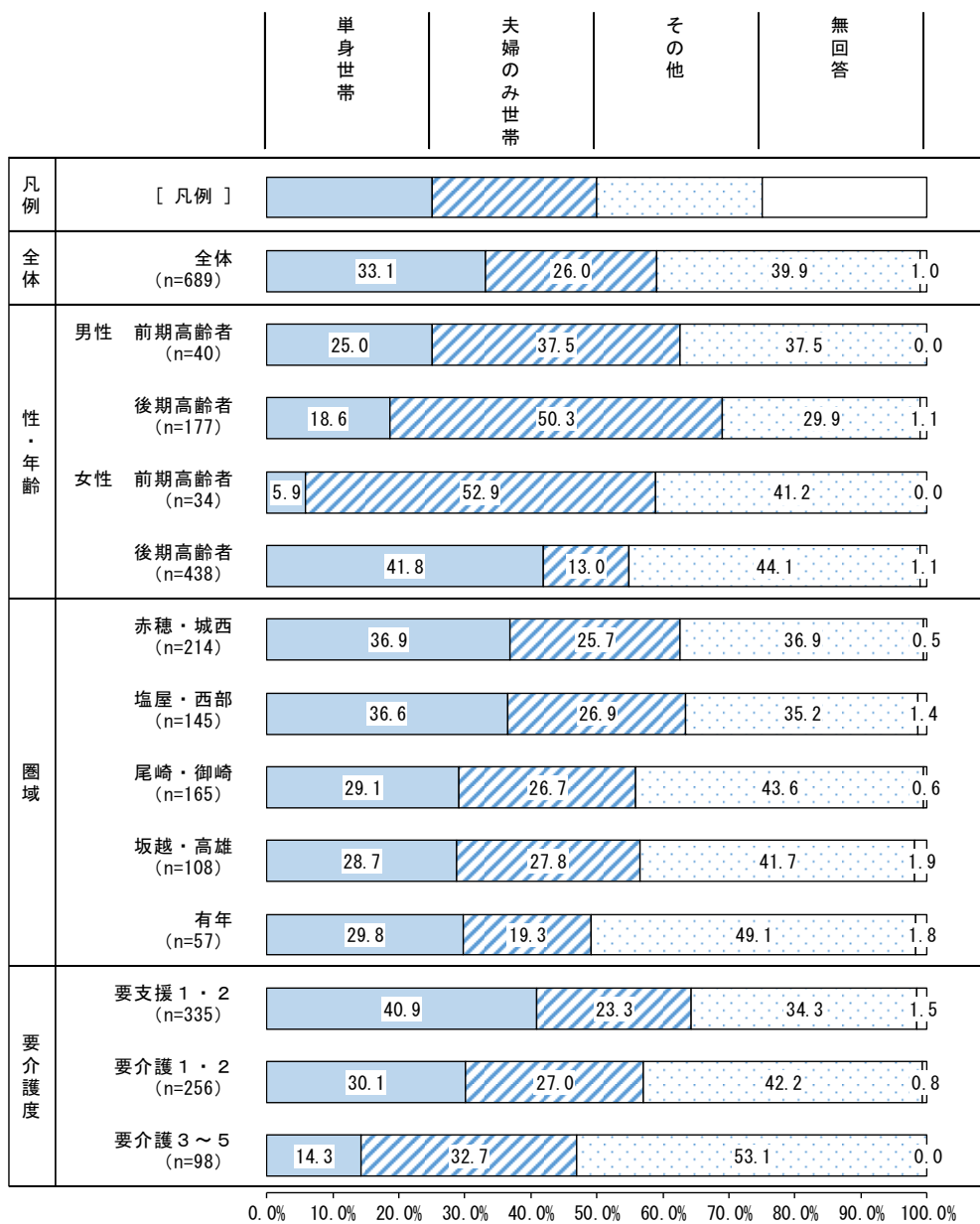


(3) 世帯類型

●問2 調査の対象者の世帯類型について、ご回答ください。(1つだけ)

【全体】
○ 世帯類型について、「その他」が39.9%で最も多く、次いで「単身世帯」が33.1%、「夫婦のみ世帯」が26.0%となっています。
【性・年齢】
○ 女性 後期高齢者では、「単身世帯」が41.8%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】
○ 赤穂・城西圏域、塩屋・西部圏域では、「単身世帯」が他の圏域に比べて多くなっています。
【要介護度】
○ 要介護3～5では、「単身世帯」が14.3%、「夫婦のみ世帯」が32.7%となっています。

【世帯類型】



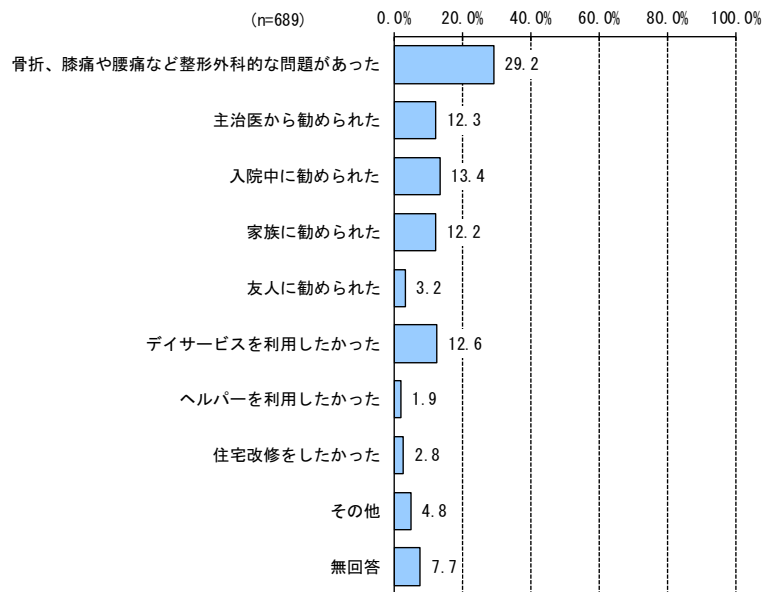
(4) 要介護認定申請のきっかけ

●問16 要介護認定申請のきっかけとなったことはなんですか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 要介護認定申請のきっかけについて、「骨折、膝痛や腰痛など整形外科的な問題があった」が29.2%で最も多く、次いで「入院中に勧められた」が13.4%、「デイサービスを利用したかった」が12.6%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男女ともに前期高齢者では「入院中に勧められた」、後期高齢者では「骨折、膝痛や腰痛など整形外科的な問題があった」が最も多くなっています。

【要介護認定申請のきっかけ】



単位：%

	母数 (n)	要介護認定申請のきっかけ										
		骨折、膝痛や腰痛など整形外科的な問題があった	主治医から勧められた	入院中に勧められた	家族に勧められた	友人に勧められた	デイサービスを利用したかった	ヘルパーを利用したかった	住宅改修をしたかった	その他	無回答	
全体	689	29.2	12.3	13.4	12.2	3.2	12.6	1.9	2.8	4.8	7.7	
性・年齢	男性 前期高齢者	40	17.5	17.5	25.0	10.0	-	12.5	2.5	2.5	7.5	5.0
	男性 後期高齢者	177	22.6	15.8	13.6	14.7	1.7	11.3	1.1	4.0	6.8	8.5
	女性 前期高齢者	34	8.8	20.6	26.5	11.8	5.9	5.9	8.8	2.9	2.9	5.9
	女性 後期高齢者	438	34.5	9.8	11.2	11.4	3.9	13.7	1.6	2.3	3.9	7.8
圏域	赤穂・城西	214	28.5	11.7	13.6	12.1	4.2	14.0	2.3	2.3	3.3	7.9
	塩屋・西部	145	27.6	8.3	13.1	13.8	2.1	13.8	1.4	4.1	6.2	9.7
	尾崎・御崎	165	30.9	17.0	13.9	10.3	4.8	10.3	-	1.2	4.8	6.7
	坂越・高雄	108	33.3	10.2	11.1	11.1	0.9	13.0	5.6	2.8	4.6	7.4
	有年	57	22.8	15.8	15.8	15.8	1.8	10.5	-	5.3	7.0	5.3
要介護度	要支援 1・2	335	36.7	9.3	9.6	13.4	3.3	7.8	2.1	4.2	3.0	10.7
	要介護 1・2	256	19.1	15.2	15.2	12.9	3.5	19.5	1.2	0.8	7.8	4.7
	要介護 3～5	98	29.6	15.3	21.4	6.1	2.0	11.2	3.1	3.1	3.1	5.1

3. 家族等による介護について

(1) 介護の頻度

- 問3 調査の対象者は、ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。
(1つだけ)

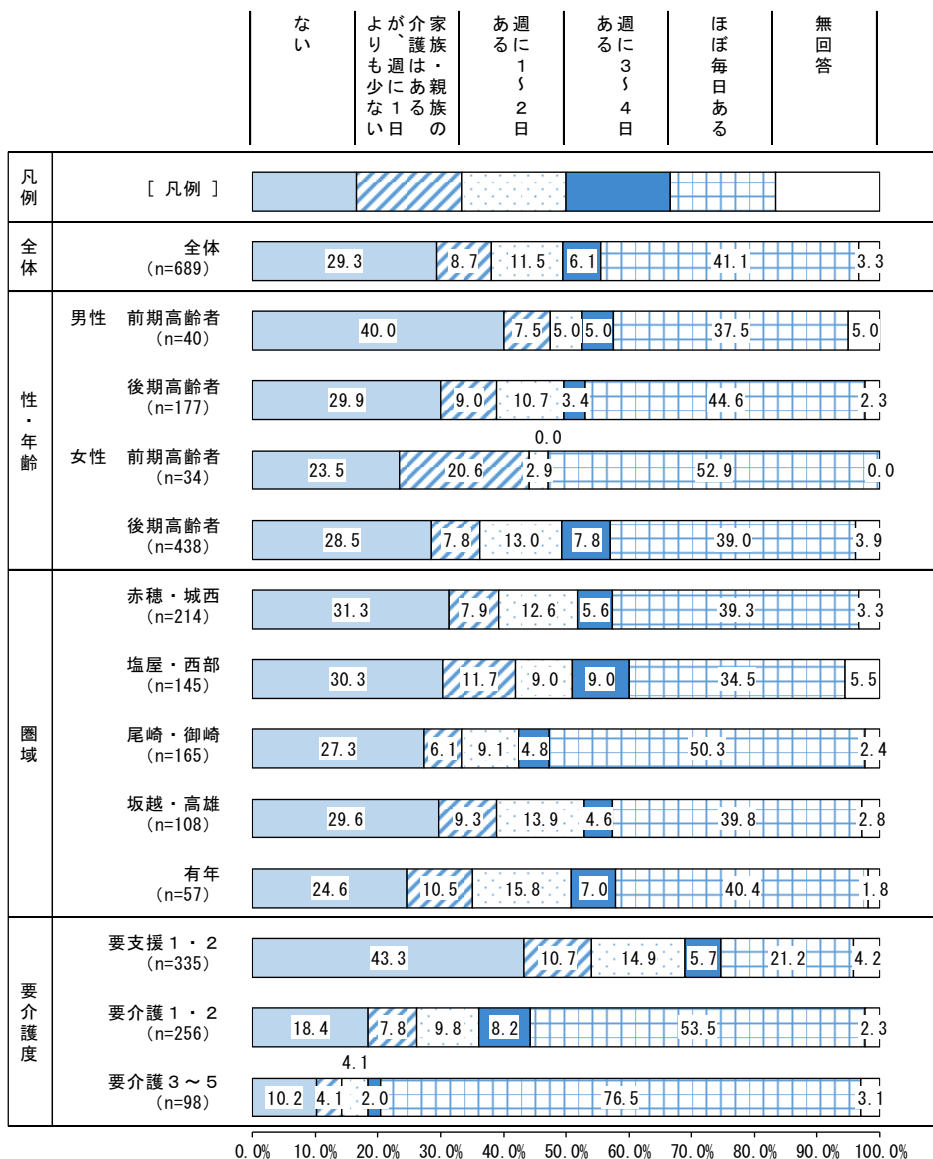
【全体】
○ 介護の頻度について、「ほぼ毎日ある」が41.1%で最も多く、次いで「ない」が29.3%、「週に1～2日ある」が11.5%となっています。

【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」を合わせた“週に1日以上ある”が多くなっています。

【圏域】
○ 尾崎・御崎圏域では、「ほぼ毎日ある」が50.3%と他の圏域に比べて多くなっています。

【要介護度】
○ 要介護度が上がるほど、「ほぼ毎日ある」が多くなる傾向がみられ、要介護3～5では76.5%となっています。

【介護の頻度】



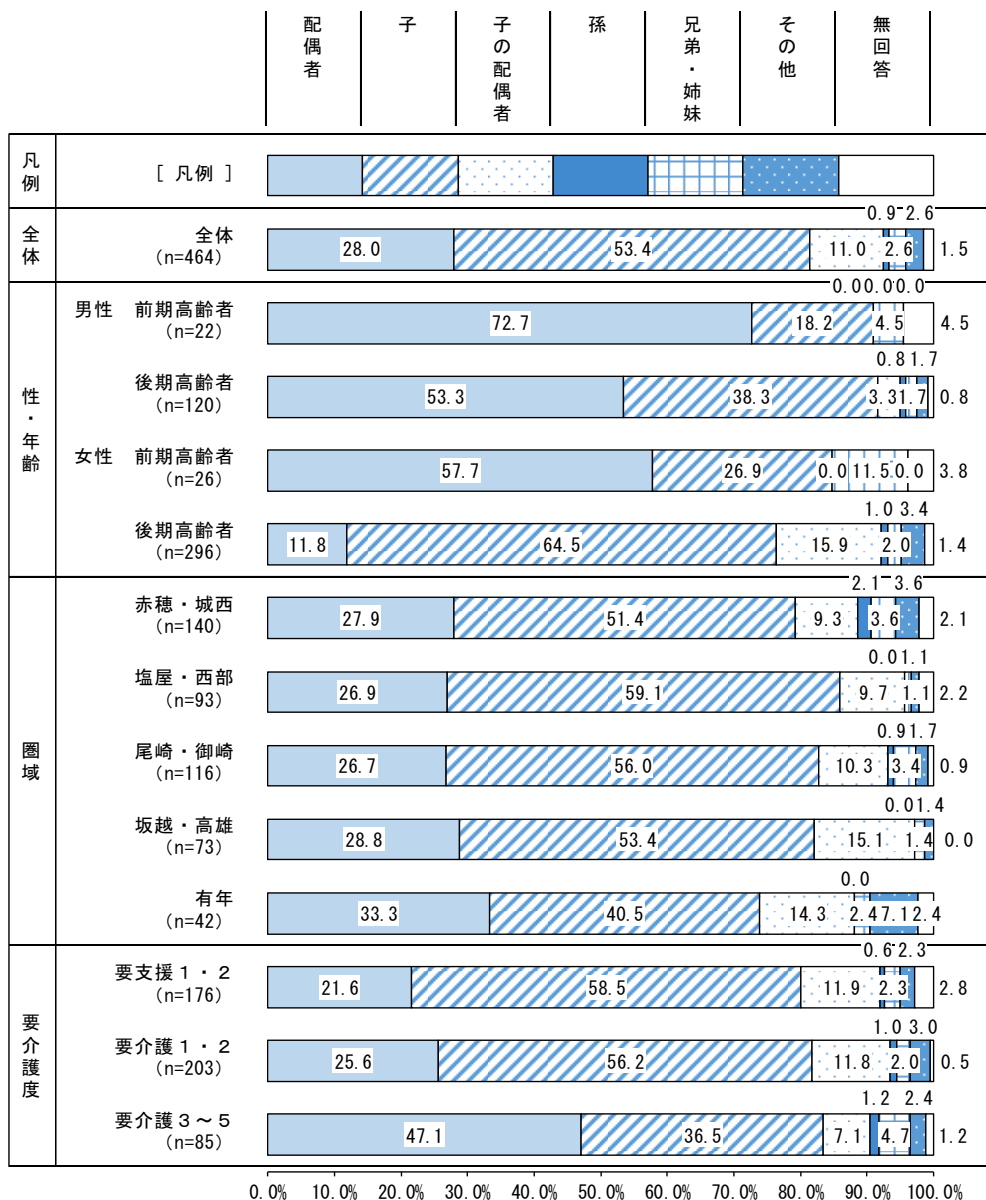
(2) 主な介護者の属性

① 主な介護者

- 問4 「家族、親族から介護を受けている方のみ」調査の対象者を、主に介護している方は、どなたですか。(1つだけ)

【全体】
○ 主な介護者について、「子」が 53.4%で最も多く、次いで「配偶者」が 28.0%、「子の配偶者」が 11.0%となっています。
【性・年齢】
○ 女性 後期高齢者では他の区分に比べて「配偶者」が少なく、「子」が 64.5%と多くなっています。
【圏域】
○ 有年圏域では、他の圏域に比べて「配偶者」が多く、「子」が少なくなっています。
【要介護度】
○ 要介護度が上がるほど「配偶者」が多くなる傾向がみられます。

【主な介護者】

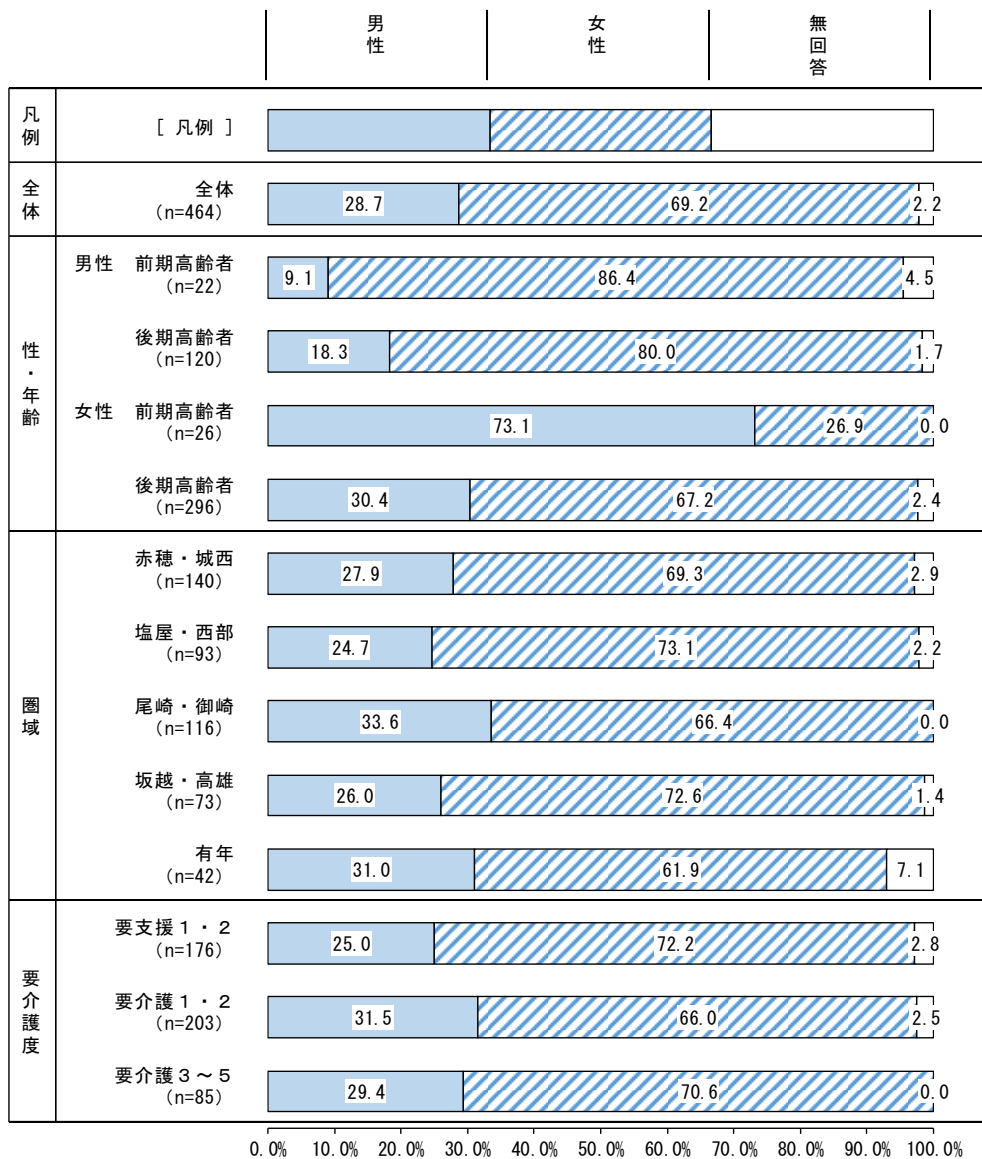


② 主な介護者の性別・年齢

- 問5 「家族、親族から介護を受けている方のみ」調査の対象者を、主に介護している方の性別について、ご回答ください。(1つだけ)

【全体】
○ 主な介護者の性別について、「男性」が28.7%、「女性」が69.2%となっています。
【性・年齢】
○ 女性 前期高齢者では「男性」が多くなっています。

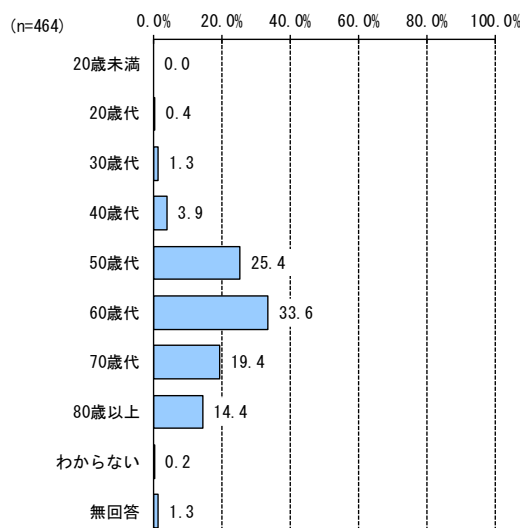
【主な介護者の性別】



- 問6 「家族、親族から介護を受けている方のみ」調査の対象者を、主に介護している方の年齢について、ご回答ください。(1つだけ)

- 【全体】**
- 主な介護者の年齢について、「60 歳代」が 33.6%で最も多く、次いで「50 歳代」が 25.4%、「70 歳代」が 19.4%となっています。
- 【性・年齢】**
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「50 歳代」が多くなっています。
 - 「60 歳代」は男性 前期高齢者が 40.9%、女性 後期高齢者が 43.2%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 「70 歳代」は女性 前期高齢者が 57.7%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 「80 歳以上」は男性 後期高齢者が 29.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【要介護度】**
- 要介護3～5では「70 歳代」が 31.8%と最も多くなっています。また、「80 歳以上」も 23.5%と他の区分に比べて多く、「70 歳代」「80 歳以上」を合わせた“70 歳以上”が 55.3%となっています。

【主な介護者の年齢】



単位：%

	母数 (n)	主な介護者の年齢										
		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答	
全体	464	-	0.4	1.3	3.9	25.4	33.6	19.4	14.4	0.2	1.3	
性・年齢	男性 前期高齢者	22	-	-	4.5	9.1	9.1	40.9	27.3	4.5	-	4.5
	男性 後期高齢者	120	-	0.8	0.8	3.3	21.7	13.3	28.3	29.2	0.8	1.7
	女性 前期高齢者	26	-	-	7.7	19.2	3.8	11.5	57.7	-	-	-
	女性 後期高齢者	296	-	0.3	0.7	2.4	30.1	43.2	11.8	10.5	-	1.0
圏域	赤穂・城西	140	-	0.7	2.1	4.3	25.0	31.4	18.6	15.7	-	2.1
	塩屋・西部	93	-	-	1.1	4.3	24.7	39.8	20.4	9.7	-	-
	尾崎・御崎	116	-	0.9	0.9	3.4	25.9	29.3	24.1	14.7	-	0.9
	坂越・高雄	73	-	-	-	1.4	28.8	32.9	17.8	17.8	-	1.4
	有年	42	-	-	2.4	7.1	21.4	40.5	9.5	14.3	2.4	2.4
要介護度	要支援1・2	176	-	0.6	-	2.8	34.7	35.8	14.2	9.7	-	2.3
	要介護1・2	203	-	0.5	2.0	3.9	24.6	34.0	18.7	14.8	0.5	1.0
	要介護3～5	85	-	-	2.4	5.9	8.2	28.2	31.8	23.5	-	-

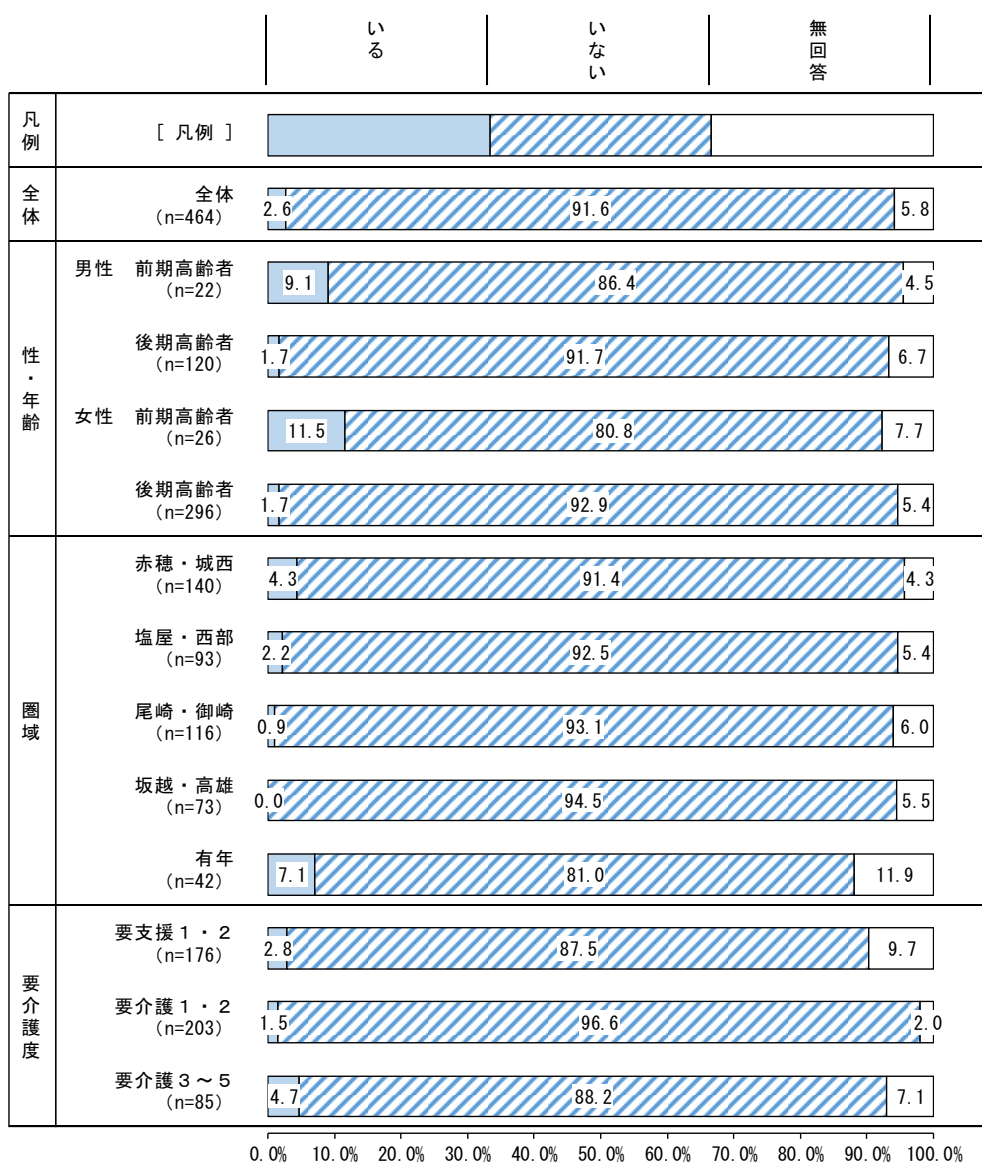
- 問26 「家族、親族から介護を受けている方のみ」主な介護者の方には、15歳未満の子どもはいますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 15歳未満の主な介護者の有無について、「いる」が2.6%、「いない」が91.6%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男女ともに前期高齢者では「いる」が約1割と後期高齢者に比べて多くなっています。

【要介護度】
 ○ 要介護3～5では、「いる」が4.7%と他の区分に比べて多くなっています。

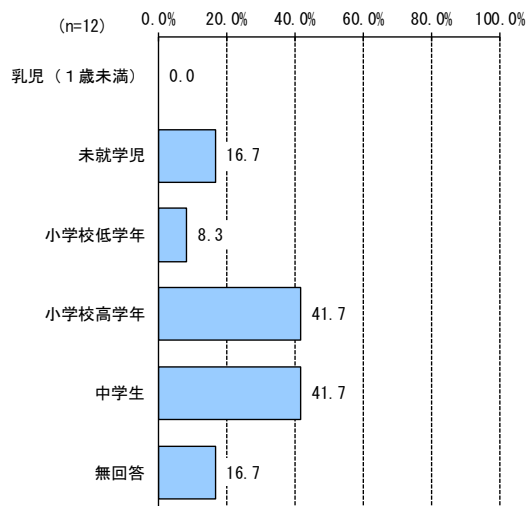
【15歳未満の主な介護者の有無】



- 問27 「主な介護者に15歳未満の子どもがいる方のみ」子どもの年齢はどのくらいですか。(いくつでも)

【全体】
 ○ 15歳未満の主な介護者の年齢について、「小学校高学年」「中学生」が41.7%で最も多く、次いで「未就学児」が16.7%、「小学校低学年」が8.3%となっています。

【15歳未満の主な介護者の年齢(MA)】



単位：%

	母数 (n)	15歳未満の主な介護者の年齢(MA)					
		乳児 (1歳未満)	未就学児	小学校低学年	小学校高学年	中学生	無回答
全体	12	-	16.7	8.3	41.7	41.7	16.7
性・年齢	男性 前期高齢者	2	-	-	-	50.0	50.0
	男性 後期高齢者	2	-	-	50.0	-	50.0
	女性 前期高齢者	3	-	66.7	33.3	33.3	-
	女性 後期高齢者	5	-	-	60.0	60.0	-
圏域	赤穂・城西	6	-	-	33.3	33.3	33.3
	塩屋・西部	2	-	-	50.0	50.0	-
	尾崎・御崎	1	-	100.0	100.0	-	-
	坂越・高雄	-	-	-	-	-	-
	有年	3	-	33.3	-	66.7	66.7
要介護度	要支援 1・2	5	-	-	60.0	20.0	20.0
	要介護 1・2	3	-	33.3	-	33.3	33.3
	要介護 3～5	4	-	25.0	25.0	50.0	75.0

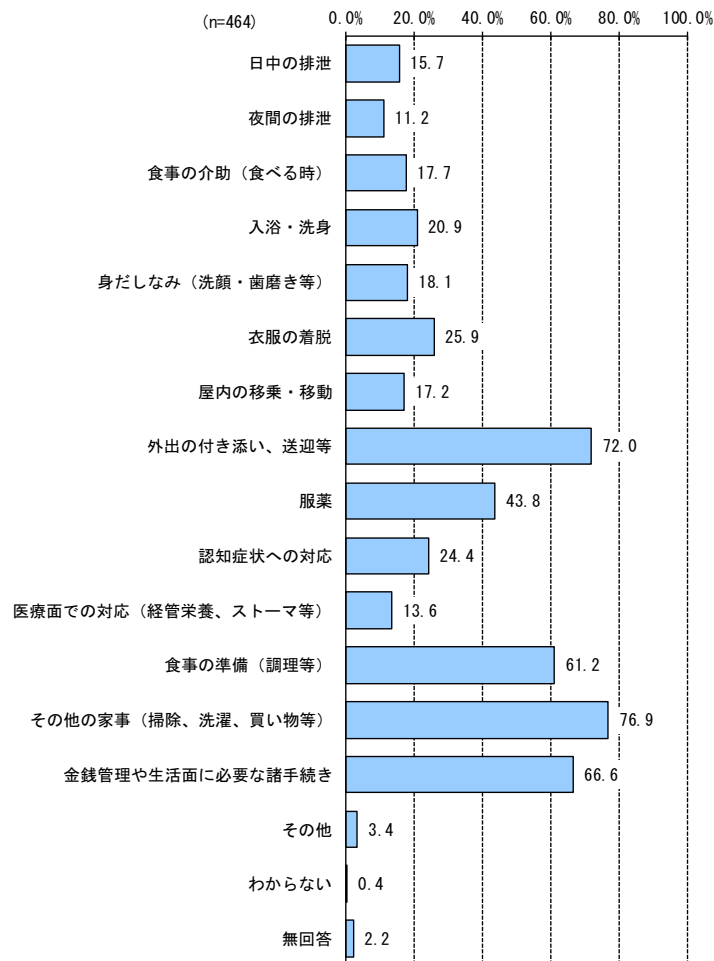
(3) 主な介護者が行う介護の内容

① 現在行っている介護

●問7 「家族、親族から介護を受けている方のみ」現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(いくつでも)

【全体】
○ 主な介護者が行う介護について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 76.9%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 72.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 66.6%となっています。

【主な介護者が行う介護(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「服薬」「認知症状への対応」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が多くなっています。
- 「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」をみると、男性では前期高齢者、女性では後期高齢者で多くなっています。

【要介護度】

- 要介護3～5では、「日中の排泄」「衣服の着脱」が6割以上、「服薬」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が7割以上、「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が8割以上となっています。
- 「入浴・洗身」「認知症状への対応」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」は、要介護1以上で要支援と比べて多くなっています。

単位：％

		母数 (n)	主な介護者が行う介護(MA)								
			日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗面・歯磨き等)	衣服の着脱	移動内の移乗・	い外出の付き添	服薬
全体		464	15.7	11.2	17.7	20.9	18.1	25.9	17.2	72.0	43.8
性・年齢	男性 前期高齢者	22	22.7	18.2	36.4	36.4	36.4	36.4	31.8	72.7	36.4
	後期高齢者	120	22.5	15.0	21.7	23.3	21.7	34.2	17.5	66.7	55.0
	女性 前期高齢者	26	23.1	15.4	26.9	30.8	19.2	30.8	23.1	76.9	34.6
	後期高齢者	296	11.8	8.8	13.9	17.9	15.2	21.3	15.5	73.6	40.5
圏域	赤穂・城西	140	14.3	12.1	15.0	17.9	17.1	22.9	20.0	67.9	42.1
	塩屋・西部	93	12.9	12.9	21.5	12.9	19.4	22.6	18.3	75.3	40.9
	尾崎・御崎	116	15.5	8.6	13.8	22.4	12.9	25.9	12.1	77.6	41.4
	坂越・高雄	73	17.8	12.3	20.5	21.9	20.5	30.1	16.4	67.1	57.5
	有年	42	23.8	9.5	23.8	42.9	28.6	35.7	21.4	71.4	38.1
要介護度	要支援1・2	176	1.7	2.3	6.3	8.0	3.4	4.5	5.7	76.7	17.0
	要介護1・2	203	8.9	7.9	14.3	27.1	16.7	26.6	13.8	73.9	53.2
	要介護3～5	85	61.2	37.6	49.4	32.9	51.8	68.2	49.4	57.6	76.5

単位：％

		母数 (n)	主な介護者が行う介護(MA)								
			対認知 症状への	等養 （経 スト 管マ	医 療 面 で の 対	（食 事 の 調 理 等 ） の 準 備	等濯 （掃 除 の 買 い 物 洗 家 事	そ の 他 の 家 事	諸 活 面 に 必 要 な 生	金 銭 管 理 や	そ の 他
全体		464	24.4	13.6	61.2	76.9	66.6	3.4	0.4	2.2	
性・年齢	男性 前期高齢者	22	9.1	9.1	63.6	86.4	59.1	-	-	4.5	
	後期高齢者	120	28.3	14.2	68.3	70.8	63.3	2.5	1.7	2.5	
	女性 前期高齢者	26	15.4	19.2	65.4	73.1	61.5	3.8	-	3.8	
	後期高齢者	296	24.7	13.2	57.8	79.1	68.9	4.1	-	1.7	
圏域	赤穂・城西	140	21.4	11.4	58.6	70.7	57.9	2.9	1.4	4.3	
	塩屋・西部	93	22.6	15.1	58.1	76.3	66.7	4.3	-	1.1	
	尾崎・御崎	116	27.6	12.9	66.4	82.8	75.0	3.4	-	1.7	
	坂越・高雄	73	26.0	15.1	63.0	83.6	72.6	4.1	-	-	
	有年	42	26.2	16.7	59.5	71.4	61.9	2.4	-	2.4	
要介護度	要支援1・2	176	8.0	11.9	42.0	67.0	52.3	1.7	0.6	2.8	
	要介護1・2	203	35.5	11.3	68.5	82.8	73.9	3.4	-	2.0	
	要介護3～5	85	31.8	22.4	83.5	83.5	78.8	7.1	1.2	1.2	

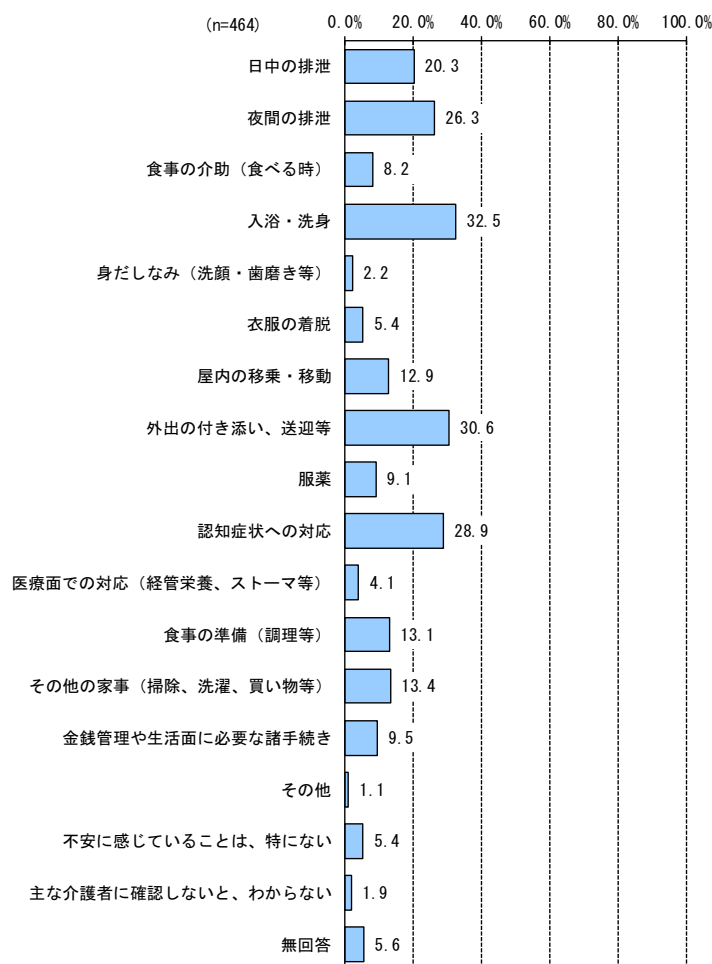
② 不安に感じる介護

- 問22 「家族、親族から介護を受けている方のみ」現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（3つまで）

【全体】

- 主な介護者が不安に感じる介護等について、「入浴・洗身」が 32.5%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 30.6%、「認知症状への対応」が 28.9%となっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)】



【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「外出の付き添い、送迎等」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「夜間の排泄」「認知症状への対応」が多くなっています。

【要介護度】

- 要介護3～5では、「日中の排泄」「夜間の排泄」「認知症状への対応」「入浴・洗身」が3割以上と多くなっています。

単位：％

	母数 (n)	主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)									
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	顔身だし(歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	
全体	464	20.3	26.3	8.2	32.5	2.2	5.4	12.9	30.6	9.1	
性・年齢	男性 前期高齢者	22	27.3	18.2	4.5	27.3	4.5	13.6	18.2	50.0	-
	後期高齢者	120	20.8	28.3	11.7	34.2	2.5	7.5	14.2	34.2	10.0
	女性 前期高齢者	26	11.5	11.5	-	34.6	3.8	3.8	7.7	38.5	7.7
	後期高齢者	296	20.3	27.4	7.8	32.1	1.7	4.1	12.5	27.0	9.5
圏域	赤穂・城西	140	19.3	26.4	8.6	27.9	2.1	3.6	12.9	32.9	8.6
	塩屋・西部	93	11.8	18.3	8.6	28.0	2.2	6.5	17.2	29.0	6.5
	尾崎・御崎	116	24.1	29.3	4.3	37.1	1.7	5.2	13.8	32.8	9.5
	坂越・高雄	73	28.8	30.1	13.7	35.6	2.7	2.7	4.1	30.1	11.0
	有年	42	16.7	28.6	7.1	40.5	2.4	14.3	16.7	21.4	11.9
要介護度	要支援1・2	176	11.4	19.3	4.5	26.7	-	2.3	13.6	38.1	8.5
	要介護1・2	203	22.2	27.6	9.4	35.0	3.0	7.9	10.3	28.1	10.3
	要介護3～5	85	34.1	37.6	12.9	38.8	4.7	5.9	17.6	21.2	7.1

単位：％

	母数 (n)	主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)										
		認知症状への対応	トーマ等(経管栄養、ス)	医療面での対応	食事の準備(調理等)	買(掃除、洗濯、その他)	その他の家事	洗面に必要生活	金銭管理や生活	その他	なる不安に感じていること	からしないこと、確認
全体	464	28.9	4.1	13.1	13.4	9.5	1.1	5.4	1.9	5.6		
性・年齢	男性 前期高齢者	22	13.6	4.5	22.7	22.7	4.5	-	4.5	-	9.1	
	後期高齢者	120	28.3	3.3	10.8	13.3	9.2	1.7	-	0.8	7.5	
	女性 前期高齢者	26	11.5	7.7	3.8	26.9	11.5	3.8	23.1	-	7.7	
	後期高齢者	296	31.8	4.1	14.2	11.5	9.8	0.7	6.1	2.7	4.4	
圏域	赤穂・城西	140	30.0	6.4	12.9	12.9	8.6	1.4	5.0	3.6	6.4	
	塩屋・西部	93	29.0	4.3	16.1	19.4	14.0	1.1	7.5	2.2	4.3	
	尾崎・御崎	116	26.7	0.9	11.2	10.3	6.9	0.9	3.4	0.9	6.9	
	坂越・高雄	73	34.2	5.5	15.1	15.1	9.6	-	2.7	-	4.1	
	有年	42	21.4	2.4	9.5	7.1	9.5	2.4	11.9	2.4	4.8	
要介護度	要支援1・2	176	18.8	4.5	14.8	19.3	13.1	0.6	7.4	4.5	8.5	
	要介護1・2	203	36.9	3.4	15.8	11.8	8.9	1.0	3.4	0.5	3.4	
	要介護3～5	85	30.6	4.7	3.5	4.7	3.5	2.4	5.9	-	4.7	

(4) 介護離職

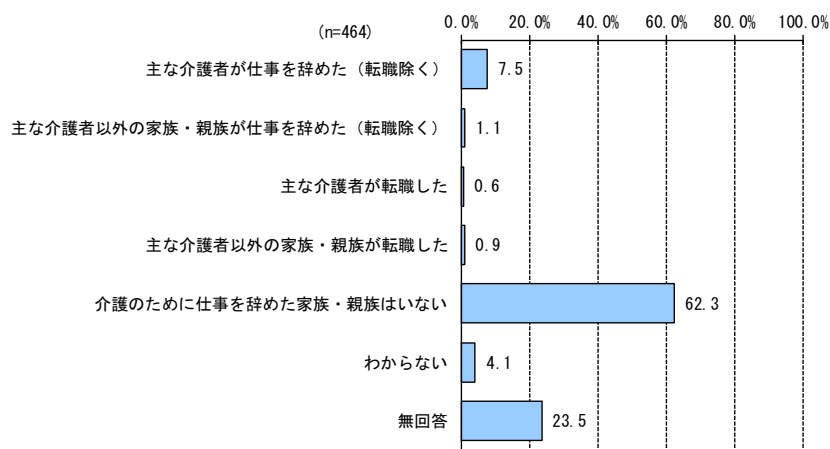
① 介護離職者の有無

- 問8 「家族、親族から介護を受けている方のみ」 ご家族やご親族の中で、調査の対象者の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(いくつでも)

【全体】
 ○ 介護離職について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が62.3%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が7.5%、「わからない」が4.1%となっています。

【要介護度】
 ○ 要介護度が上がるほど「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が多くなる傾向がみられます。

【介護離職(MA)】



単位：%

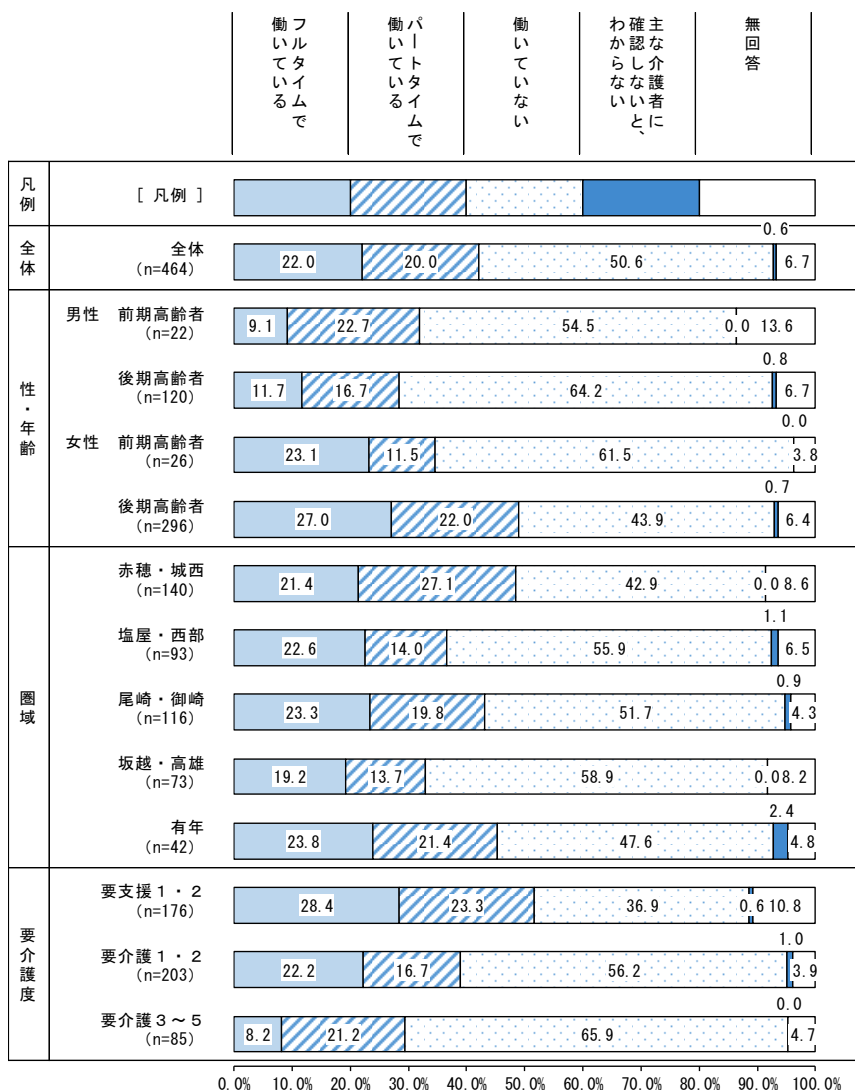
	母数 (n)	介護離職(MA)						わからない	無回答
		辞めた 主な 介護者 (転職 除く)	家族・ 親族 が 仕事を 辞めた (転職 除く)	主な 介護者 が 転職 した	家族・ 親族 が 転職 した	主な 介護者 が 仕事を 辞めた (転職 除く)	家族・ 親族 が 仕事を 辞めた (転職 除く)		
全体	464	7.5	1.1	0.6	0.9	62.3	4.1	23.5	
性・年齢	男性 前期高齢者	22	13.6	-	4.5	-	54.5	4.5	22.7
	男性 後期高齢者	120	6.7	0.8	-	0.8	58.3	4.2	29.2
	女性 前期高齢者	26	7.7	-	-	-	57.7	7.7	26.9
	女性 後期高齢者	296	7.4	1.4	0.7	1.0	64.9	3.7	20.9
圏域	赤穂・城西	140	6.4	2.1	-	-	63.6	2.9	25.0
	塩屋・西部	93	8.6	-	2.2	2.2	60.2	5.4	21.5
	尾崎・御崎	116	7.8	-	-	0.9	67.2	0.9	23.3
	坂越・高雄	73	5.5	1.4	-	-	61.6	4.1	27.4
	有年	42	11.9	2.4	2.4	2.4	50.0	14.3	16.7
要介護度	要支援1・2	176	5.1	1.1	-	-	63.1	4.0	26.7
	要介護1・2	203	7.9	1.5	1.0	1.0	62.1	4.9	21.7
	要介護3～5	85	11.8	-	1.2	2.4	61.2	2.4	21.2

② 主な介護者の勤務形態

- 問18 「家族、親族から介護を受けている方のみ」主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ)

【全体】	○ 主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が50.6%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が22.0%、「パートタイムで働いている」が20.0%となっています。
【性・年齢】	○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「フルタイムで働いている」が多くなっています。 ○ 男性では前期高齢者に比べて後期高齢者で「働いていない」が多いのに対し、女性では後期高齢者に比べて前期高齢者で「働いていない」が多くなっています。
【性・年齢】	○ 赤穂・城西圏域では「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を合わせた“働いている”が48.5%と他の圏域に比べて多くなっています。
【要介護度】	○ 要介護度が上がるほど「フルタイムで働いている」が少なく、「働いていない」が多くなる傾向がみられます。 ○ 要介護3～5では、「フルタイムで働いている」が8.2%となっています。

【主な介護者の勤務形態】



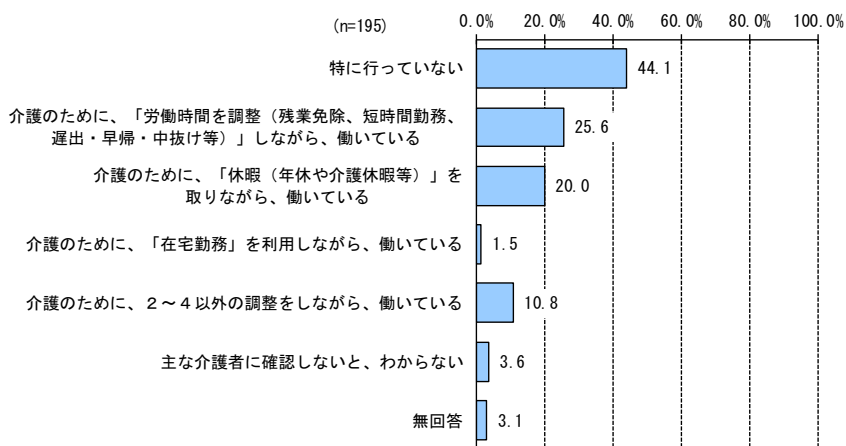
③ 働き方の調整

- 問19 [主な介護者が働いている方のみ] 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも)

【全体】
 ○ 働き方の調整について、「特に行っていない」が44.1%で最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が25.6%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が20.0%となっています。

【要介護度】
 ○ 要介護度が上がるほど「特に行っていない」が少なく、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が多くなる傾向がみられます。
 ○ 要介護3～5では、「特に行っていない」が32.0%となっています。

【働き方の調整(MA)】



		母数 (n)	働き方の調整(MA)						
			特に行っていない	ら出整介働介利介整介 働・早業護働用護の い・早帰業のた て・中除免のた け等」しなを」 が	「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」	「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」	「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」	「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」	「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」
全体		195	44.1	25.6	20.0	1.5	10.8	3.6	3.1
性・年齢	男性 前期高齢者	7	42.9	28.6	-	14.3	28.6	-	-
	男性 後期高齢者	34	44.1	23.5	14.7	-	11.8	2.9	8.8
	女性 前期高齢者	9	44.4	33.3	33.3	-	-	-	-
	女性 後期高齢者	145	44.1	25.5	21.4	1.4	10.3	4.1	2.1
圏域	赤穂・城西	68	47.1	25.0	17.6	-	8.8	4.4	2.9
	塩屋・西部	34	35.3	32.4	29.4	-	14.7	2.9	-
	尾崎・御崎	50	36.0	28.0	24.0	2.0	14.0	4.0	2.0
	坂越・高雄	24	58.3	16.7	12.5	4.2	4.2	-	8.3
要介護度	有年	19	52.6	21.1	10.5	5.3	10.5	5.3	5.3
	要支援1・2	91	52.7	20.9	11.0	2.2	12.1	5.5	2.2
	要介護1・2	79	38.0	27.8	30.4	-	7.6	2.5	3.8
	要介護3～5	25	32.0	36.0	20.0	4.0	16.0	-	4.0

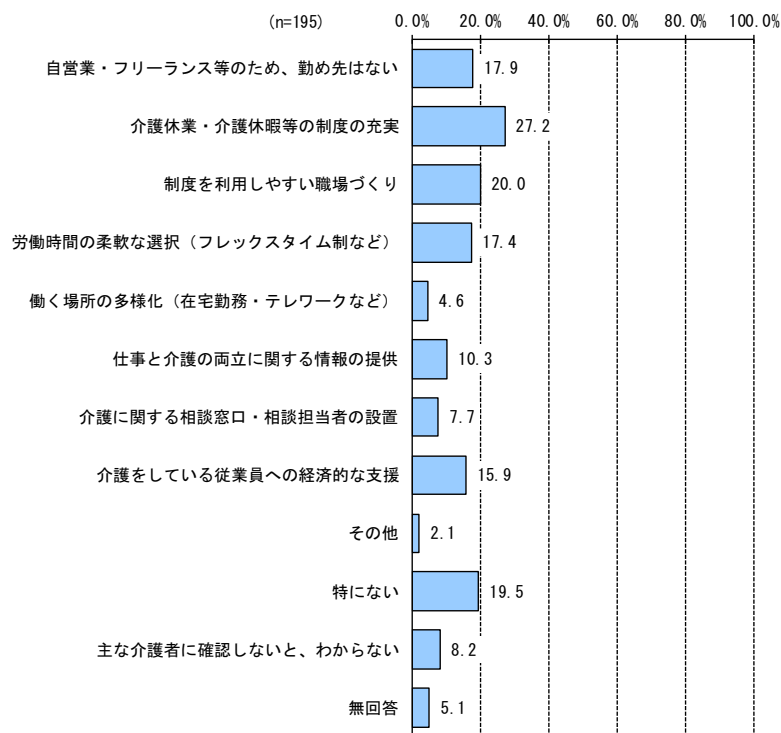
④ 今後の介護と仕事の両立

- 問20 [主な介護者が働いている方のみ] 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで)

【全体】
 ○ 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 27.2%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が 20.0%、「特にない」が 19.5%となっています。

【要介護度】
 ○ 要介護3～5では、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「介護をしている従業員への経済的な支援」が2割以上となっています。一方で、「特にない」が28.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援(3LA)】



単位：%

	母数 (n)	仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援(3LA)												
		は自営業・フリーランスのため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答	
全体	195	17.9	27.2	20.0	17.4	4.6	10.3	7.7	15.9	2.1	19.5	8.2	5.1	
性・年齢	男性 前期高齢者	7	28.6	-	-	-	-	-	-	-	28.6	14.3	28.6	
	男性 後期高齢者	34	20.6	32.4	17.6	20.6	2.9	5.9	14.7	5.9	14.7	8.8	11.8	
	女性 前期高齢者	9	-	44.4	22.2	11.1	11.1	-	11.1	22.2	33.3	-	-	
	女性 後期高齢者	145	17.9	26.2	21.4	17.9	4.8	12.4	6.2	18.6	2.8	19.3	8.3	2.8
圏域	赤穂・城西	68	17.6	23.5	17.6	13.2	7.4	7.4	4.4	19.1	-	26.5	8.8	-
	塩屋・西部	34	11.8	20.6	14.7	23.5	8.8	8.8	5.9	5.9	5.9	14.7	11.8	14.7
	尾崎・御崎	50	16.0	36.0	30.0	30.0	-	24.0	14.0	18.0	2.0	10.0	4.0	6.0
	坂越・高雄	24	25.0	20.8	16.7	8.3	4.2	-	4.2	8.3	-	29.2	4.2	8.3
	有年	19	26.3	36.8	15.8	-	-	-	10.5	26.3	5.3	15.8	15.8	-
要介護度	要支援1・2	91	14.3	28.6	19.8	18.7	6.6	12.1	8.8	14.3	2.2	18.7	11.0	3.3
	要介護1・2	79	21.5	30.4	24.1	12.7	3.8	8.9	6.3	16.5	2.5	17.7	7.6	6.3
	要介護3～5	25	20.0	12.0	8.0	28.0	-	8.0	8.0	20.0	-	28.0	-	8.0

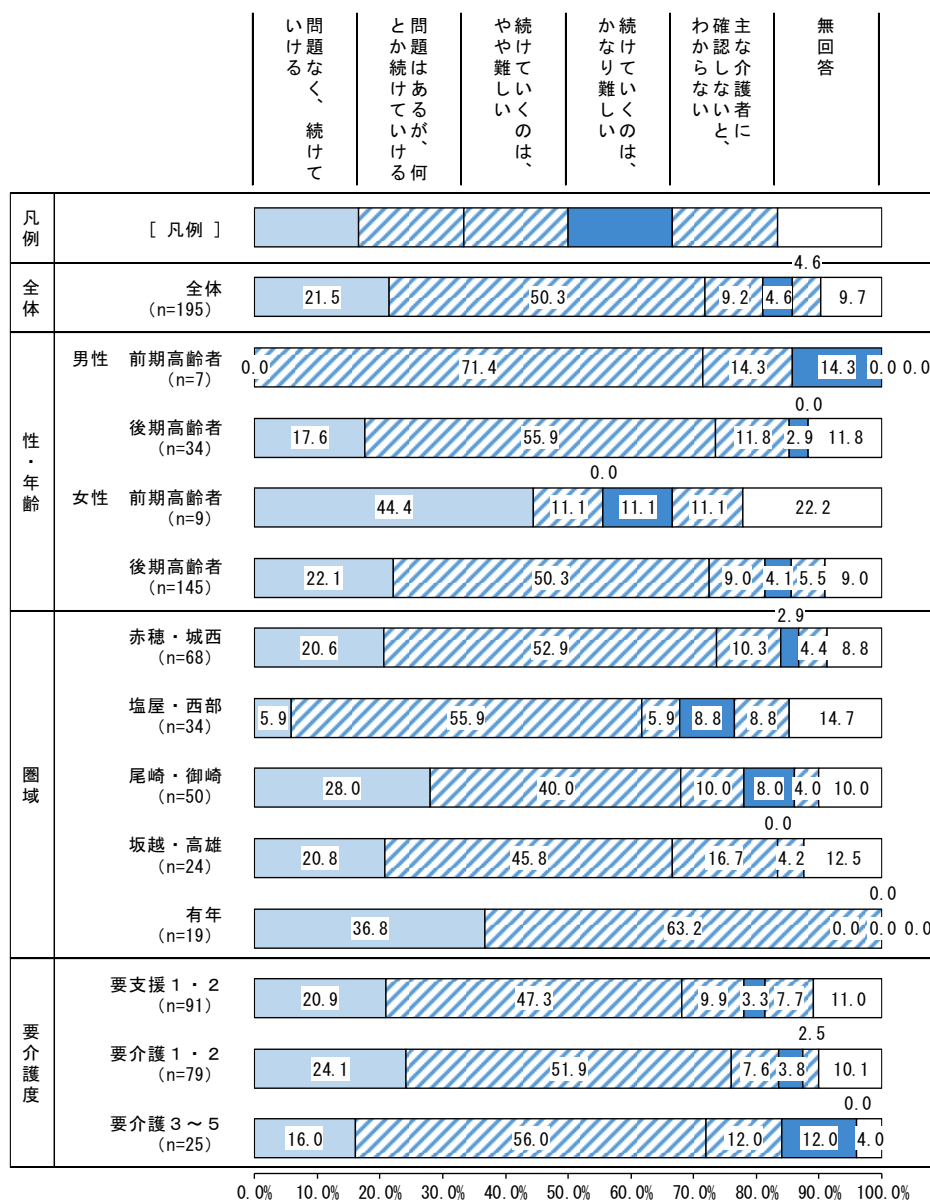
- 問21 〔主な介護者が働いている方のみ〕主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 今後の仕事と介護の両立見込みについて、「問題はあるが、何とか続けていける」が50.3%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が21.5%、「続けていくのは、やや難しい」が9.2%となっています。「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた“続けていける”は71.8%となっています。「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた“続けていくのは難しい”は13.8%となっています。

【圏域】
 ○ 塩屋・西部圏域では、「問題なく、続けていける」が5.9%と他の圏域に比べて少なくなっています。

【要介護度】
 ○ 要介護3～5では、“続けていくのは難しい”が24.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【今後の仕事と介護の両立見込み】



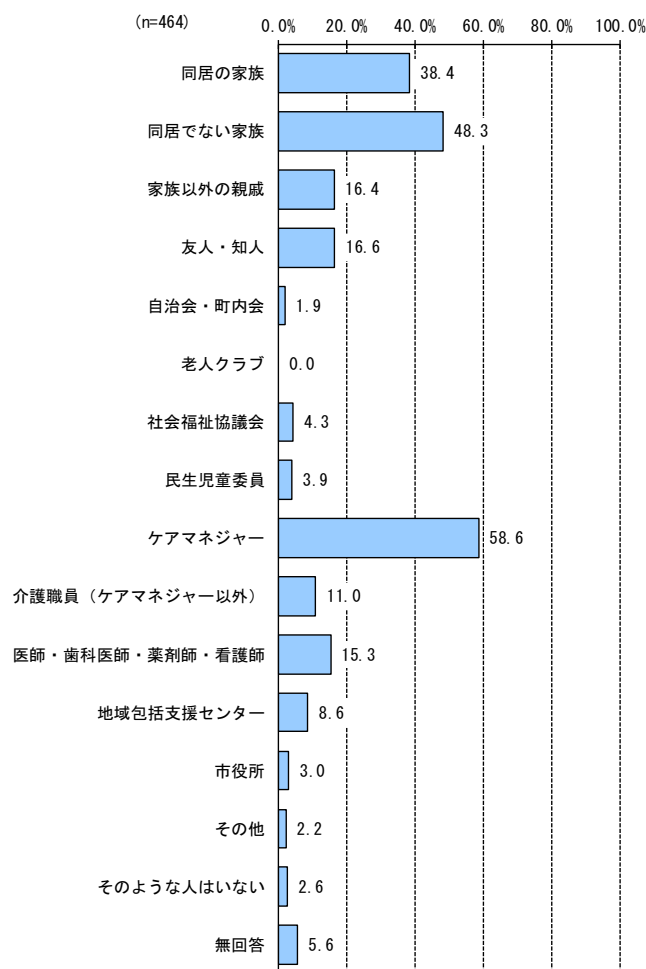
(5) 介護についての相談相手

- 問25 「家族、親族から介護を受けている方のみ」主な介護者の方が、介護に悩んだときに相談する人はいますか。(いくつでも)

【全体】

- 介護に悩んだときに相談する人について、「ケアマネジャー」が58.6%で最も多く、次いで「同居でない家族」が48.3%、「同居の家族」が38.4%となっています。

【介護に悩んだときに相談する人(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」「地域包括支援センター」が多くなっています。

【圏域】

- 尾崎・御崎圏域、坂越・高雄圏域では、「地域包括支援センター」が1割以上と他の圏域に比べて多くなっています。
- 坂越・高雄圏域、有年圏域では、「友人・知人」が1割未満と他の圏域に比べて少なくなっています。一方で、「ケアマネジャー」が6割以上、「同居の家族」が約4～5割と多くなっています。

【要介護度】

- 要介護度が上がるほど、「ケアマネジャー」が多くなる傾向がみられます。
- 要支援1・2、要介護1・2では「介護職員（ケアマネジャー以外）」「医師・歯科医師・薬剤師・看護師」が約1割であるのに対し、要介護3～5では2割以上となっています。

単位：%

	母数 (n)	介護に悩んだときに相談する人(MA)								
		同居の家族	同居でない家族	家族以外の親戚	友人・知人	自治会・町内会	老人クラブ	社会福祉協議会	民生児童委員	
全体	464	38.4	48.3	16.4	16.6	1.9	-	4.3	3.9	
性・年齢	男性 前期高齢者	22	13.6	45.5	18.2	18.2	-	-	4.5	4.5
	後期高齢者	120	30.8	53.3	15.8	12.5	4.2	-	1.7	4.2
	女性 前期高齢者	26	30.8	46.2	11.5	7.7	-	-	11.5	-
	後期高齢者	296	43.9	46.6	16.9	18.9	1.4	-	4.7	4.1
圏域	赤穂・城西	140	35.7	46.4	17.1	19.3	2.1	-	4.3	3.6
	塩屋・西部	93	37.6	51.6	15.1	17.2	1.1	-	4.3	3.2
	尾崎・御崎	116	34.5	49.1	15.5	20.7	2.6	-	5.2	6.0
	坂越・高雄	73	42.5	57.5	19.2	9.6	1.4	-	4.1	1.4
	有年	42	52.4	28.6	14.3	7.1	2.4	-	2.4	4.8
要介護度	要支援1・2	176	35.2	50.6	19.9	18.8	2.8	-	4.5	5.1
	要介護1・2	203	43.3	46.3	16.3	15.3	1.5	-	4.4	3.0
	要介護3～5	85	32.9	48.2	9.4	15.3	1.2	-	3.5	3.5

単位：%

	母数 (n)	介護に悩んだときに相談する人(MA)								
		ケアマネジャー	外) マネジャー以外 介護職員(ケア)	医師・歯科医師・薬剤師・看護師	地域包括支援センター	市役所	その他	いそがないような人は	無回答	
全体	464	58.6	11.0	15.3	8.6	3.0	2.2	2.6	5.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	22	54.5	13.6	22.7	13.6	4.5	4.5	-	18.2
	後期高齢者	120	60.8	11.7	17.5	6.7	4.2	0.8	3.3	5.8
	女性 前期高齢者	26	65.4	11.5	23.1	23.1	-	3.8	3.8	3.8
	後期高齢者	296	57.4	10.5	13.2	7.8	2.7	2.4	2.4	4.7
圏域	赤穂・城西	140	55.7	12.9	19.3	7.9	4.3	2.1	4.3	6.4
	塩屋・西部	93	59.1	8.6	12.9	5.4	1.1	2.2	3.2	5.4
	尾崎・御崎	116	57.8	11.2	10.3	11.2	2.6	3.4	0.9	6.0
	坂越・高雄	73	61.6	9.6	15.1	11.0	4.1	-	2.7	4.1
	有年	42	64.3	11.9	21.4	7.1	2.4	2.4	-	4.8
要介護度	要支援1・2	176	46.0	8.0	13.1	11.9	5.1	1.7	2.8	8.5
	要介護1・2	203	63.5	8.4	13.8	5.9	2.0	2.5	3.0	4.4
	要介護3～5	85	72.9	23.5	23.5	8.2	1.2	2.4	1.2	2.4

4. 支援・サービスについて

(1) 介護保険サービス以外の支援・サービス

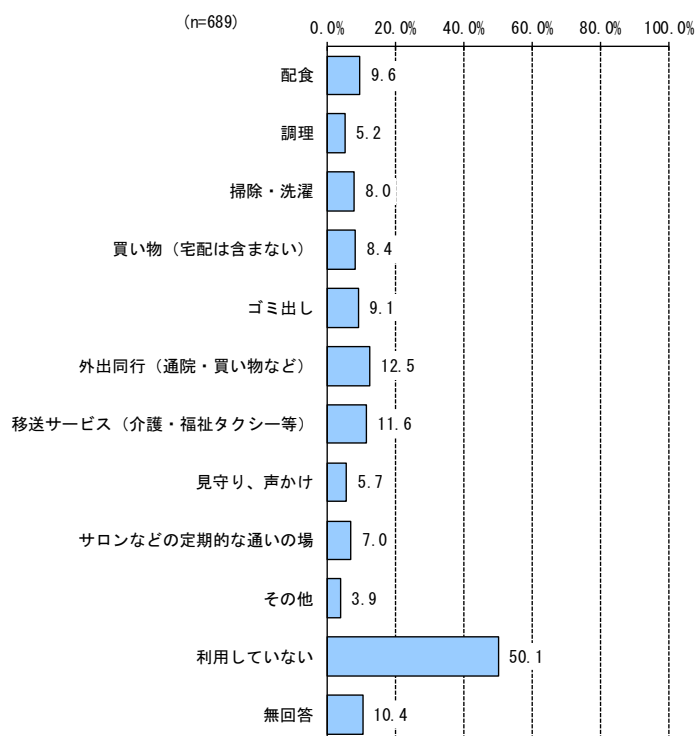
① 現在利用している支援・サービス

- 問9 現在、調査の対象者が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも)

【全体】

- 「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況について、「利用していない」が50.1%で最も多く、次いで「外出同行（通院・買い物など）」が12.5%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が11.6%となっています。

【「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況(MA)】



【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「利用していない」が少なく、「配食」「買い物（宅配は含まない）」「ゴミ出し」「外出同行（通院・買い物など）」が多くなっています。

【圏域】

○ 有年圏域では、「利用していない」が他の圏域に比べて少なく、特に「外出同行（通院・買い物など）」が21.1%と多くなっています。

【要介護度】

○ 要介護3～5では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が22.4%と他の区分に比べて多くなっています。

単位：%

	母数 (n)	「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況(MA)											利用して いない	無回 答
		配食	調理	掃除・洗濯	含 買 ま ない 物 (宅 配 は)	ゴ ミ 出 し	院 外 出 行 (通 院 ・ 買 い 物 な ど)	移 送 サ ー ビ ス タ ク シ ー 等	見 守 り 、 声 か け	サ ロ ン な ど の 場 定	そ の 他			
全体	689	9.6	5.2	8.0	8.4	9.1	12.5	11.6	5.7	7.0	3.9	50.1	10.4	
性・年齢	男性 前期高齢者	40	2.5	2.5	2.5	2.5	-	2.5	12.5	-	2.5	7.5	60.0	10.0
	男性 後期高齢者	177	13.0	6.8	8.5	7.3	8.5	15.8	12.4	5.6	2.8	2.3	49.7	13.0
	女性 前期高齢者	34	2.9	-	-	5.9	2.9	5.9	5.9	5.9	2.9	8.8	55.9	8.8
	女性 後期高齢者	438	9.4	5.3	8.9	9.6	10.7	12.6	11.6	6.2	9.4	3.9	48.9	9.6
圏域	赤穂・城西	214	8.9	5.6	5.1	8.4	7.5	7.9	11.2	7.5	7.5	4.2	47.7	10.7
	塩屋・西部	145	7.6	3.4	11.0	6.9	5.5	13.8	11.7	4.8	6.9	4.1	49.7	11.0
	尾崎・御崎	165	9.1	5.5	5.5	7.9	10.3	10.9	13.3	3.6	7.3	5.5	52.7	10.3
	坂越・高雄	108	11.1	2.8	9.3	8.3	12.0	17.6	8.3	2.8	3.7	1.9	55.6	10.2
	有年	57	15.8	12.3	15.8	14.0	15.8	21.1	14.0	12.3	10.5	1.8	42.1	8.8
要介護度	要支援1・2	335	9.0	4.8	9.3	10.7	10.1	12.2	9.9	6.6	9.3	3.3	46.0	11.6
	要介護1・2	256	11.3	5.5	5.9	6.3	7.4	13.3	9.8	4.3	5.5	3.9	56.6	7.0
	要介護3～5	98	7.1	6.1	9.2	6.1	10.2	11.2	22.4	6.1	3.1	6.1	46.9	15.3

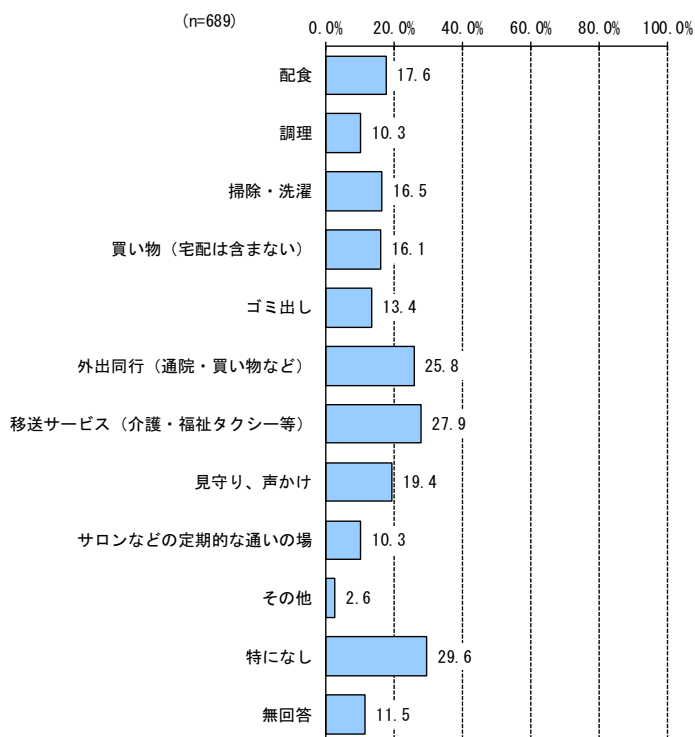
② 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

- 問10 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（いくつかでも）

【全体】

- 在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、「特になし」が29.6%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.9%、「外出同行（通院・買い物など）」が25.8%となっています。

【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)】



【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「特になし」が少なくなっています。

【圏域】

○ 坂越・高雄圏域では、「特になし」が38.9%と他の圏域に比べて多くなっています。

○ いずれの圏域でも「外出同行（通院・買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が上位2項目となっています。特に、塩屋・西部圏域では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が35.2%と他の圏域に比べても多くなっています。

○ 有年圏域では、ほとんどの項目で他の圏域に比べて多くなっています。

【要介護度】

○ 「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「外出同行（通院・買い物など）」は約2～3割、「見守り・声かけ」は約2割といずれの要介護度でも多くなっています。

○ 要支援1・2では「特になし」が23.6%であるのに対し、要介護1・2、要介護3～5では3割以上となっています。

単位：%

	母数 (n)	在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)												
		配食	調理	掃除・洗濯	含 買 い 物 (宅 配 は)	ゴ ミ 出 し	ど 院 外 出 行 物 (な 通)	ク ヘ 移 送 サ ー ビ ス タ キ シ ー 等	見 守 り 、 声 か け	期 サ ロ ン な の 場 定	そ の 他	特 に な し	無 回 答	
全体	689	17.6	10.3	16.5	16.1	13.4	25.8	27.9	19.4	10.3	2.6	29.6	11.5	
性・年齢	男性 前期高齢者	40	15.0	15.0	17.5	25.0	12.5	27.5	30.0	15.0	7.5	2.5	37.5	2.5
	後期高齢者	177	19.2	11.3	16.4	15.3	12.4	25.4	31.6	19.8	8.5	1.1	27.1	15.8
	女性 前期高齢者	34	5.9	5.9	11.8	14.7	8.8	23.5	8.8	20.6	2.9	2.9	38.2	14.7
	後期高齢者	438	18.0	9.8	16.9	15.8	14.2	26.0	27.6	19.6	11.9	3.2	29.2	10.3
圏域	赤穂・城西	214	17.3	12.6	17.3	17.8	11.7	25.7	25.2	20.1	12.1	2.3	26.6	12.6
	塩屋・西部	145	14.5	9.0	17.2	13.8	14.5	28.3	26.9	15.9	9.7	2.1	27.6	13.1
	尾崎・御崎	165	17.6	7.9	13.3	15.2	12.7	23.6	35.2	21.8	10.9	4.2	29.1	10.9
	坂越・高雄	108	17.6	9.3	16.7	13.0	13.9	25.0	22.2	18.5	7.4	0.9	38.9	10.2
	有年	57	26.3	14.0	21.1	24.6	17.5	28.1	29.8	21.1	8.8	3.5	29.8	7.0
要介護度	要支援1・2	335	17.3	9.9	19.7	17.6	15.8	28.7	31.0	20.0	12.5	2.4	23.6	10.7
	要介護1・2	256	19.5	10.9	15.6	15.6	11.7	25.0	25.4	18.8	9.4	3.1	35.2	10.2
	要介護3～5	98	13.3	10.2	8.2	12.2	9.2	18.4	23.5	19.4	5.1	2.0	35.7	17.3

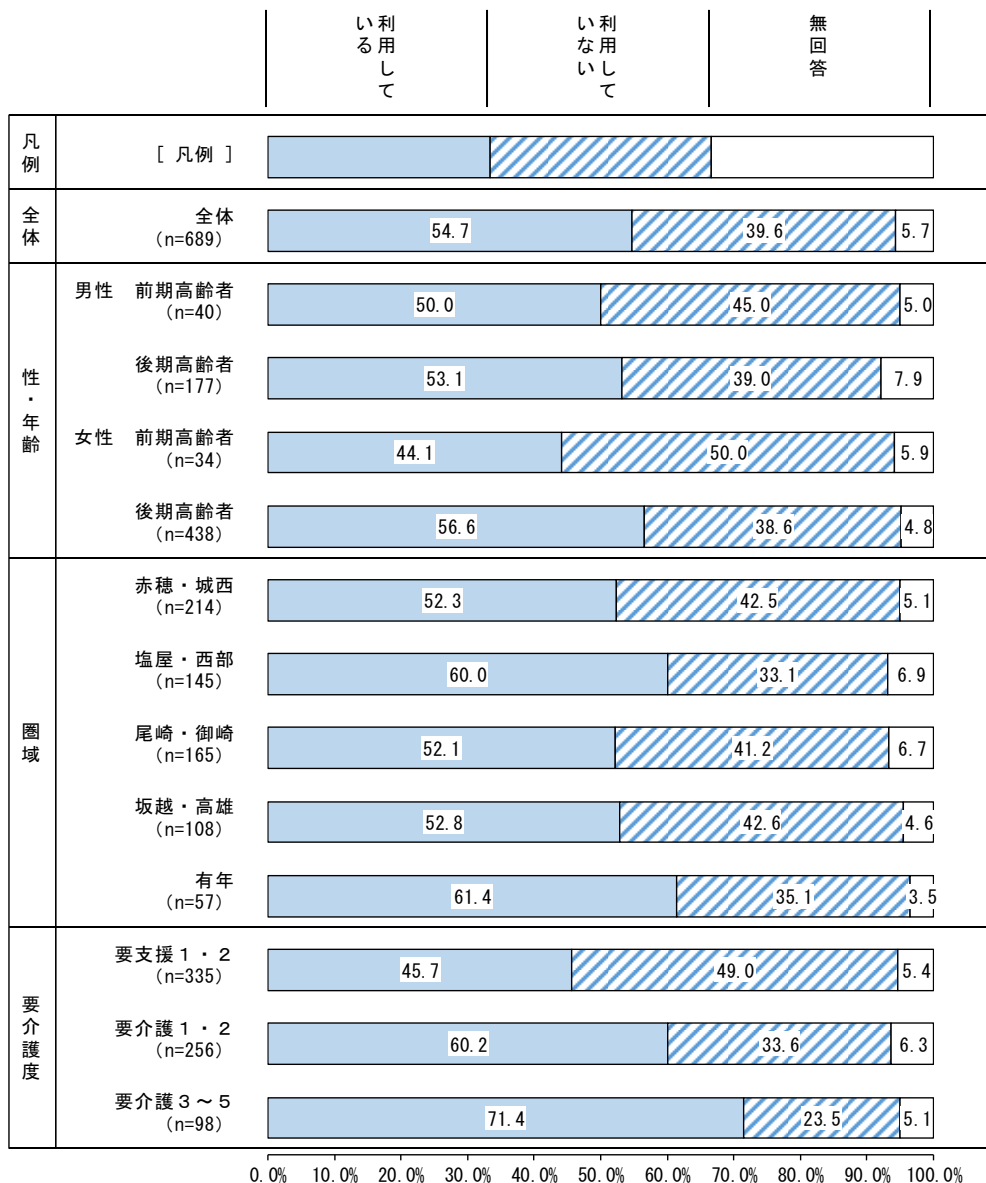
(2) 介護保険サービス

① 利用状況

- 問14 調査の対象者は、現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用してありますか。(1つだけ)

【全体】
○ 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が54.7%、「利用していない」が39.6%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「利用している」が多くなっています。
【圏域】
○ 塩屋・西部圏域、有年圏域では他の圏域に比べて「利用している」が多くなっています。
【要介護度】
○ 要介護度が上がるほど「利用している」が多くなる傾向がみられます。
○ 「利用していない」は、要支援1・2では49.0%、要介護1・2では33.6%、要介護3～5では23.5%となっています。

【住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況】



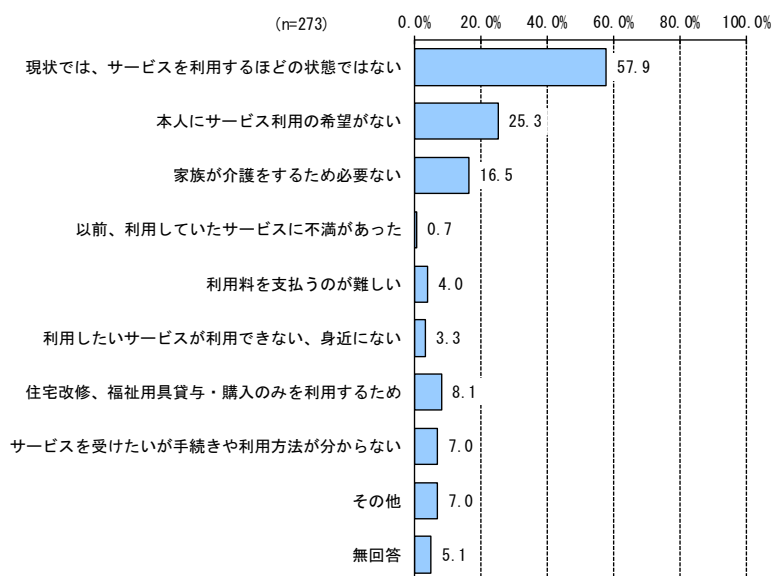
② 利用していない理由

- 問15 「介護保険サービスを利用していない方のみ」介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(1つだけ)

【全体】

- 介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 57.9%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 25.3%、「家族が介護をするため必要ない」が 16.5%となっています。

【介護保険サービスを利用していない理由(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「本人にサービス利用の希望がない」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「家族が介護をするため必要ない」が多くなっています。
- 女性 後期高齢者では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が63.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 有年圏域では、「家族が介護するため必要ない」が35.0%と他の圏域に比べて多くなっています。

【要介護度】

- 要支援1・2、要介護1・2では、「本人にサービス利用の希望がない」が約2～3割となっています。
- 要介護3～5では、「家族が介護をするため必要ない」が34.8%と他の区分に比べて多くなっています。また、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が17.4%と他の区分に比べて多くなっています。

単位：％

	母数 (n)	介護保険サービスを利用していない理由(MA)										
		の現状では、サービス利用するほどではない	本人にサービス利用しない	家族が必要ない	家族が介護をするため必要ない	がた、前、あ、さ、び、利用してない	が利用しにくい	が利用しにくい	が利用しにくい	が利用しにくい	が利用しにくい	その他
全体	273	57.9	25.3	16.5	0.7	4.0	3.3	8.1	7.0	7.0	5.1	
性・年齢	男性 前期高齢者	18	50.0	16.7	22.2	-	-	11.1	5.6	-	11.1	11.1
	男性 後期高齢者	69	50.7	27.5	21.7	1.4	7.2	5.8	7.2	11.6	4.3	5.8
	女性 前期高齢者	17	41.2	17.6	17.6	5.9	5.9	-	17.6	5.9	5.9	5.9
	女性 後期高齢者	169	63.3	26.0	13.6	-	3.0	1.8	7.7	5.9	7.7	4.1
圏域	赤穂・城西	91	59.3	20.9	15.4	-	1.1	4.4	8.8	5.5	6.6	5.5
	塩屋・西部	48	58.3	33.3	8.3	-	2.1	2.1	10.4	10.4	4.2	2.1
	尾崎・御崎	68	55.9	22.1	14.7	1.5	5.9	1.5	7.4	4.4	11.8	7.4
	坂越・高雄	46	58.7	28.3	21.7	2.2	6.5	4.3	6.5	10.9	4.3	4.3
	有年	20	55.0	30.0	35.0	-	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
要介護度	要支援1・2	164	67.7	23.8	12.8	-	2.4	3.0	7.3	6.7	5.5	4.9
	要介護1・2	86	48.8	31.4	18.6	2.3	7.0	3.5	8.1	4.7	8.1	5.8
	要介護3～5	23	21.7	13.0	34.8	-	4.3	4.3	13.0	17.4	13.0	4.3

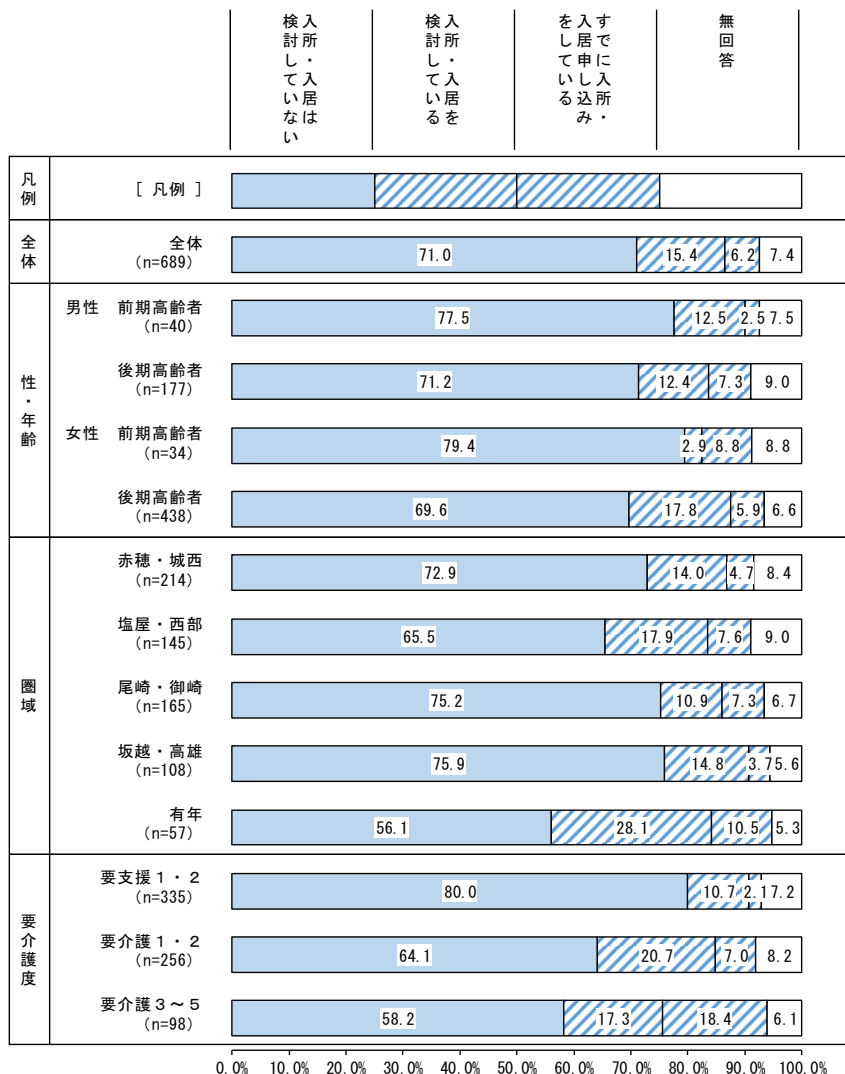
(3) 施設等への入所・入居の検討状況

① 検討状況

- 問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つだけ)

【全体】
○ 施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居を検討していない」が71.0%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が15.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が6.2%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」が多くなっています。
【性・年齢】
○ 有年圏域では「入所・入居を検討している」が28.1%と他の圏域に比べて多くなっています。
【要介護度】
○ 要介護度が上がるほど「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」が多くなる傾向がみられます。
○ 要介護3～5では、「すでに入所・入居申し込みをしている」が18.4%となっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】



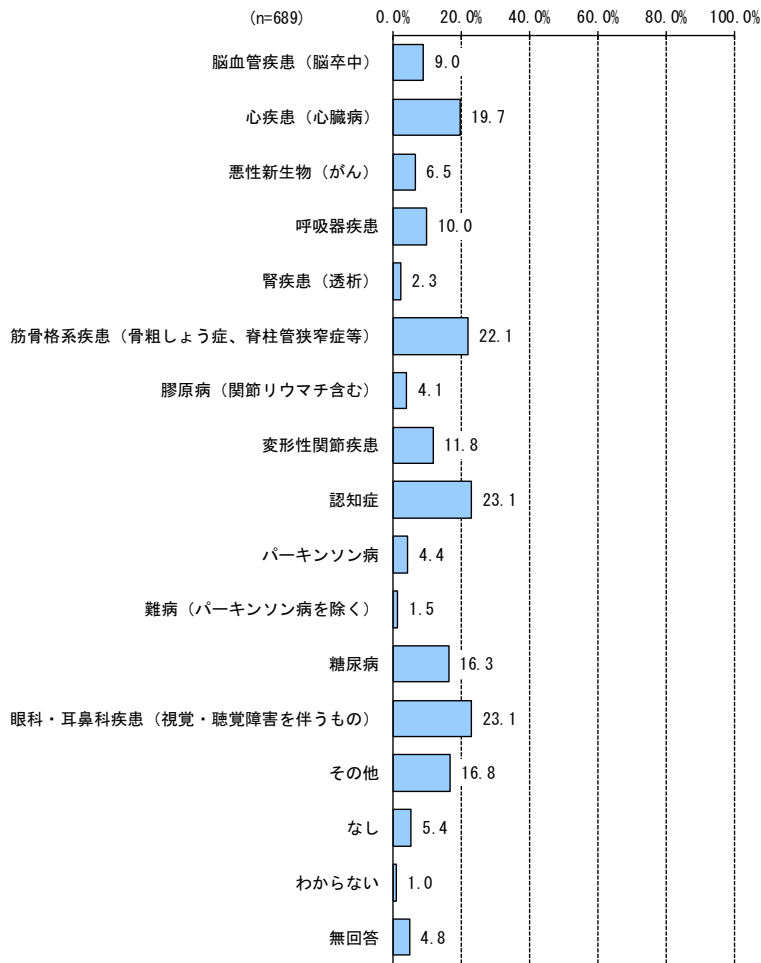
(4) 医療的な支援・サービス

① 現在抱えている傷病

●問12 調査の対象者が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(いくつでも)

【全体】
○ 現在抱えている傷病について、「認知症」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 23.1%で最も多く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 22.1%、「心疾患（心臓病）」が 19.7%となっています。

【現在抱えている傷病(MA)】



【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では「認知症」が2割以上と前期高齢者に比べて多くなっています。
- 男性 前期高齢者では「脳血管疾患（脳卒中）」、女性 前期高齢者では「悪性新生物（がん）」「糖尿病」が最も多くなっています。
- 男性 後期高齢者では「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」、女性 後期高齢者では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊椎管狭窄症等）」が最も多くなっています。

【圏域】

- 赤穂・城西圏域、尾崎・御崎圏域では他の圏域に比べて「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊椎管狭窄症等）」が多くなっています。

【要介護度】

- 要支援1・2では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊椎管狭窄症等）」、要介護1・2、要介護3～5では「認知症」が最も多くなっています。特に「認知症」は、要支援1・2では6.0%であるのに対し、要介護1・2、要介護3～5では約4割となっています。

単位：%

	母数 (n)	現在抱えている傷病(MA)								
		中 脳 血 管 疾 患 (脳 卒 中)	心 疾 患 (心 臓 病)	悪 性 新 生 物 (が ん)	呼 吸 器 疾 患	腎 疾 患 (透 析)	管 粗 しょう 症 、 脊 柱	筋 骨 格 系 疾 患 (骨 粗 しょう 症 、 脊 柱 骨 質 減 少 症 等)	マ チ 含 む)	変 形 性 関 節 疾 患
全体	689	9.0	19.7	6.5	10.0	2.3	22.1	4.1	11.8	23.1
性・年齢	男性 前期高齢者	40	25.0	12.5	15.0	15.0	5.0	20.0	2.5	10.0
	後期高齢者	177	11.3	25.4	9.6	17.5	1.7	19.8	2.3	26.6
	女性 前期高齢者	34	17.6	2.9	20.6	5.9	5.9	11.8	14.7	11.8
	後期高齢者	438	5.9	19.4	3.4	6.8	2.1	24.0	4.1	23.7
圏域	赤穂・城西	214	6.5	18.2	8.4	6.1	1.9	26.2	2.8	19.2
	塩屋・西部	145	11.7	20.7	5.5	10.3	4.1	15.9	5.5	21.4
	尾崎・御崎	165	7.3	20.0	6.7	12.1	0.6	26.1	5.5	27.3
	坂越・高雄	108	12.0	20.4	3.7	11.1	1.9	16.7	1.9	25.0
	有年	57	10.5	21.1	7.0	15.8	5.3	21.1	5.3	26.3
要介護度	要支援1・2	335	4.8	20.9	6.3	10.7	1.2	27.5	5.1	6.0
	要介護1・2	256	10.5	18.0	4.7	7.4	3.1	18.0	3.1	40.2
	要介護3～5	98	19.4	20.4	12.2	14.3	4.1	14.3	3.1	36.7

単位：%

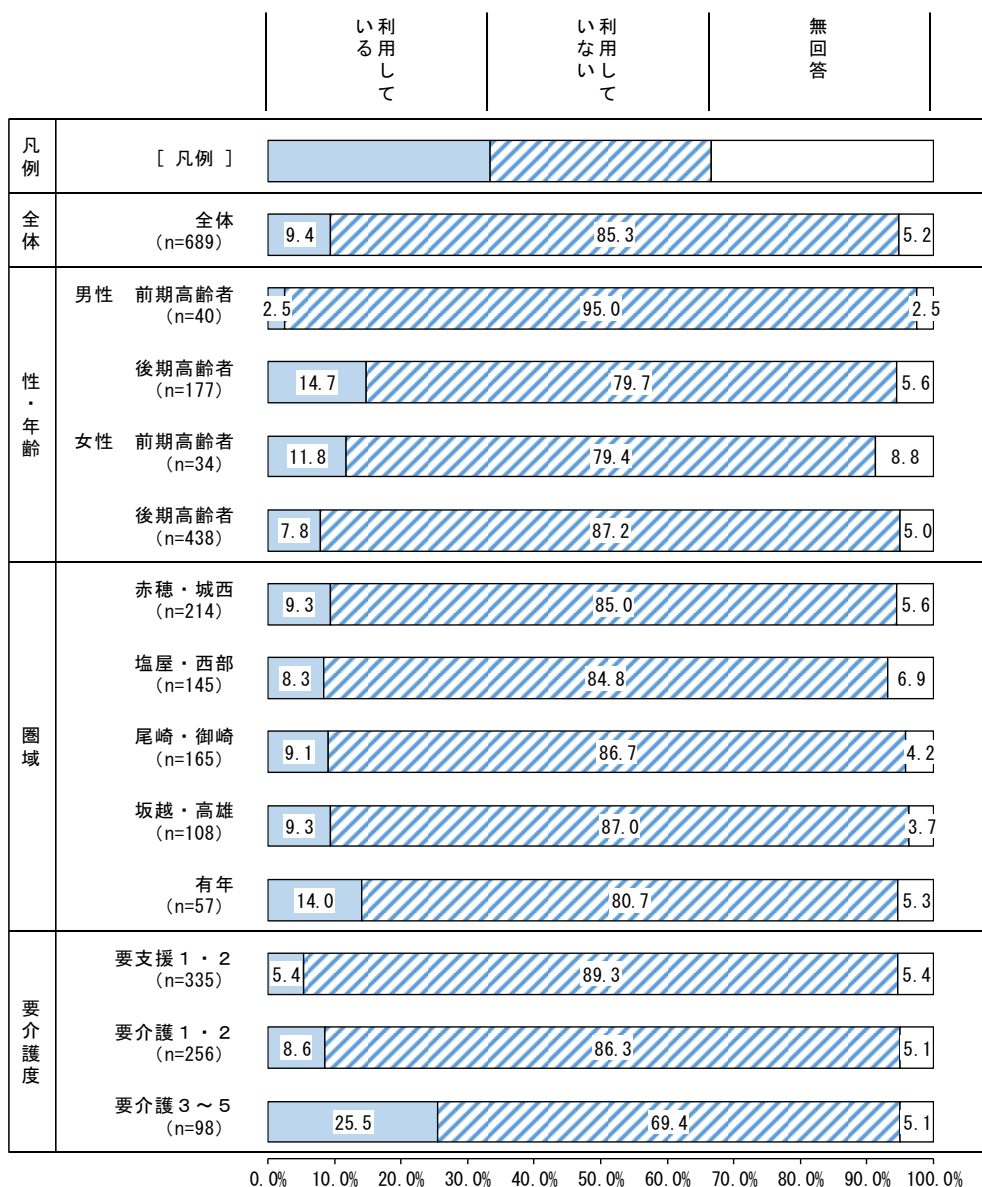
	母数 (n)	現在抱えている傷病(MA)							わ か ら な い	無 回 答
		パ ー キ ン ソ ン 病	難 病 (パ ー キ ン ソ ン 病 を 除 く)	糖 尿 病	を 伴 う も の (眼 科 ・ 耳 鼻 科 疾 患 等)	そ の 他	な し			
全体	689	4.4	1.5	16.3	23.1	16.8	5.4	1.0	4.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	40	10.0	2.5	15.0	15.0	25.0	2.5	-	
	後期高齢者	177	6.2	2.3	22.0	28.2	13.0	3.4	0.6	
	女性 前期高齢者	34	5.9	5.9	20.6	11.8	8.8	-	2.9	
	後期高齢者	438	3.0	0.7	13.7	22.6	18.3	6.8	1.4	
圏域	赤穂・城西	214	5.6	1.4	18.7	22.0	14.5	7.0	0.9	
	塩屋・西部	145	3.4	2.1	17.9	24.8	15.9	5.5	1.4	
	尾崎・御崎	165	4.8	0.6	12.1	23.6	21.8	2.4	1.2	
	坂越・高雄	108	2.8	0.9	17.6	20.4	15.7	6.5	0.9	
	有年	57	3.5	3.5	12.3	26.3	15.8	5.3	1.8	
要介護度	要支援1・2	335	2.4	0.6	14.3	25.1	18.8	6.6	0.6	
	要介護1・2	256	6.3	1.6	17.2	26.2	15.2	4.7	1.2	
	要介護3～5	98	6.1	4.1	20.4	8.2	14.3	3.1	2.0	

② 訪問診療の利用状況

●問13 調査の対象者は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つだけ)

【全体】
○ 訪問診療の利用状況について、「利用している」が 9.4%、「利用していない」が 85.3%となっています。
【要介護度】
○ 「利用している」は、要支援1・2、要介護1・2では1割未満であるのに対し、要介護3～5では25.5%となっています。

【訪問診療の利用状況】



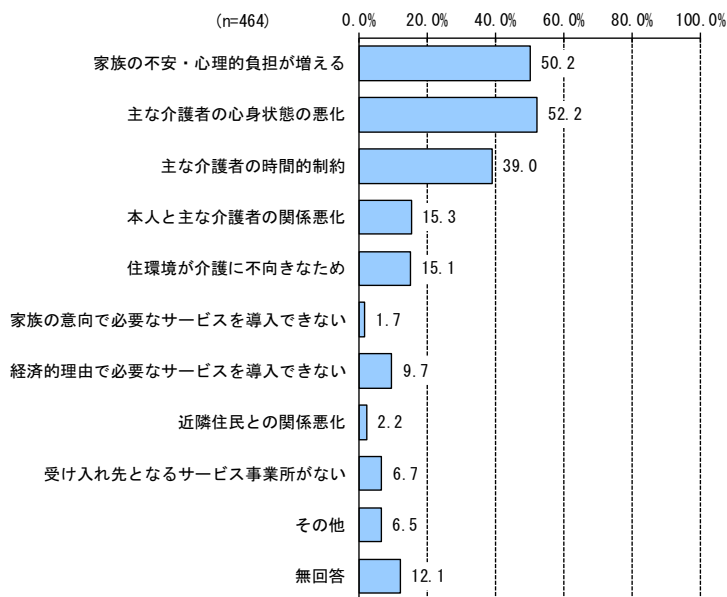
5. 今後について

(1) 在宅介護が困難になる要因

- 問23 「家族、親族から介護を受けている方のみ」在宅介護が困難になる要因はなんですか。(いくつでも)

【全体】
○ 在宅介護が困難になる要因について、「主な介護者の身体状態の悪化」が 52.2%で最も多く、次いで「家族の不安・心理的負担が増える」が 50.2%、「主な介護者の時間的制約」が 39.0%となっています。
【圏域】
○ 塩屋・西部圏域、坂越・高雄圏域では、「住環境が介護に不向きなため」が約2割と他の圏域に比べて多くなっています。
【要介護度】
○ 要介護度が上がるほど、「家族の不安・心理的負担が増える」「主な介護者の身体状態の悪化」が多くなる傾向がみられます。

【在宅介護が困難になる要因(MA)】



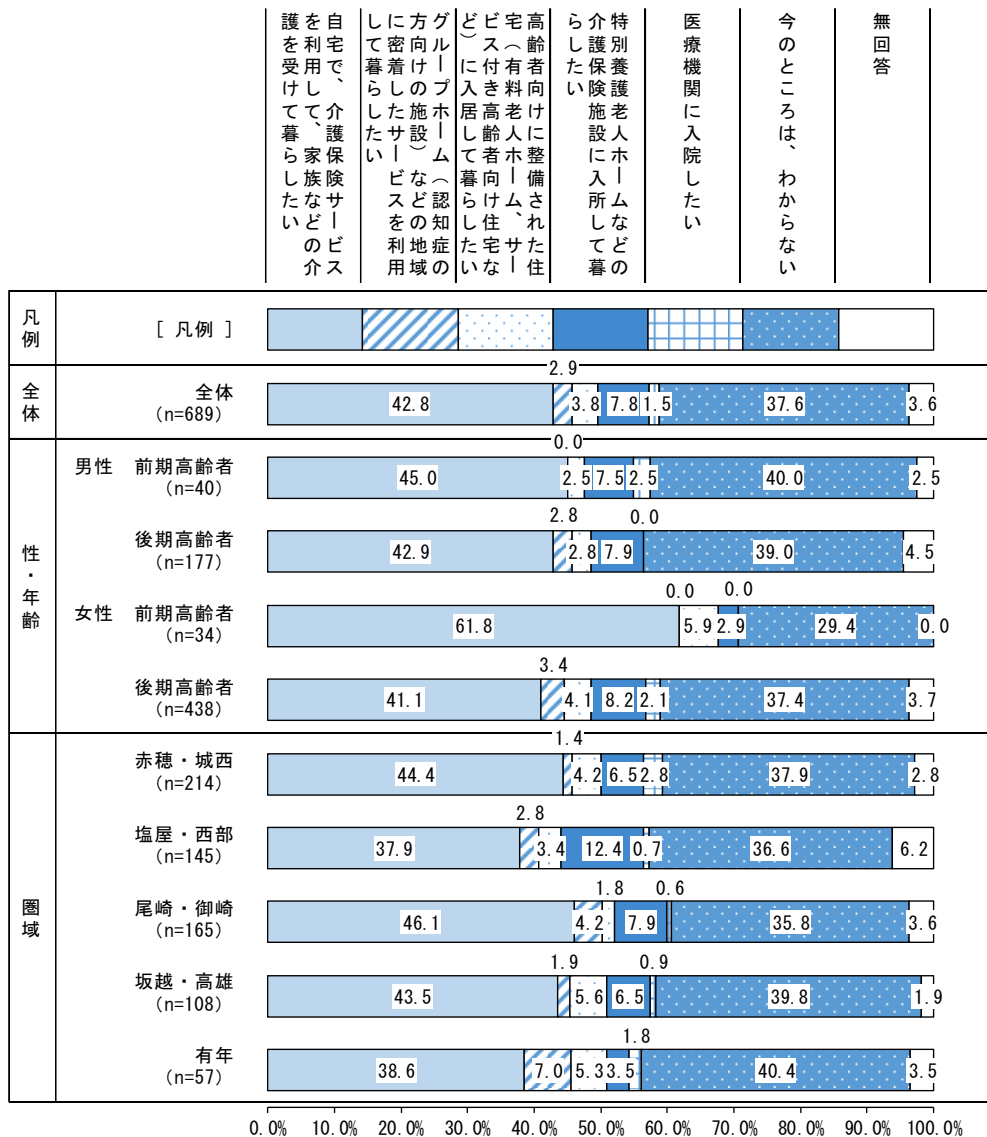
		母数 (n)	在宅介護が困難になる要因(MA)										
			家族的負担が増える・心理的	状態の悪化	時間的制約	本人と主な介護者の関係悪化	住環境が介護に不向きなため	家族の意向で必要なサービスを導入できない	経済的理由で必要なサービスを導入できない	近隣住民との関係悪化	受け入れ先となるサービス事業所がない	その他	無回答
全体		464	50.2	52.2	39.0	15.3	15.1	1.7	9.7	2.2	6.7	6.5	12.1
性・年齢	男性 前期高齢者	22	63.6	50.0	36.4	18.2	22.7	-	9.1	-	9.1	-	18.2
	男性 後期高齢者	120	54.2	63.3	34.2	16.7	14.2	3.3	10.8	1.7	10.0	3.3	13.3
	女性 前期高齢者	26	26.9	42.3	19.2	7.7	11.5	-	3.8	3.8	3.8	19.2	19.2
	女性 後期高齢者	296	49.7	48.6	42.9	15.2	15.2	1.4	9.8	2.4	5.4	7.1	10.5
圏域	赤穂・城西	140	44.3	51.4	42.9	18.6	12.9	0.7	8.6	1.4	7.1	8.6	14.3
	塩屋・西部	93	53.8	54.8	38.7	10.8	19.4	1.1	11.8	1.1	7.5	6.5	5.4
	尾崎・御崎	116	54.3	55.2	37.1	18.1	8.6	1.7	7.8	1.7	6.0	4.3	13.8
	坂越・高雄	73	54.8	52.1	39.7	12.3	24.7	2.7	9.6	1.4	4.1	4.1	12.3
要介護度	有年	42	42.9	40.5	31.0	11.9	14.3	4.8	14.3	9.5	9.5	9.5	14.3
	要支援1・2	176	44.9	45.5	36.4	12.5	14.8	1.7	7.4	-	4.5	8.5	15.9
	要介護1・2	203	54.7	55.2	40.9	17.7	15.8	2.5	9.9	4.4	6.9	4.4	8.4
	要介護3～5	85	50.6	58.8	40.0	15.3	14.1	-	14.1	1.2	10.6	7.1	12.9

(2) 今後の生活の希望

●問17 あなたは今後の生活について、どのような生活を希望しますか。(1つだけ)

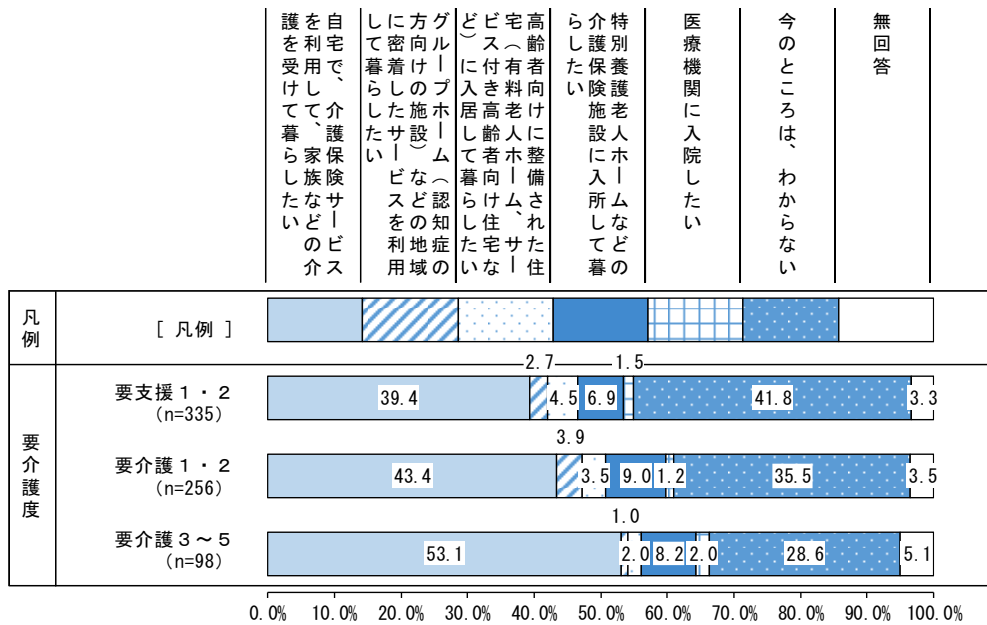
【全体】
○ 希望する今後の生活について、「自宅で、介護保険サービスを利用して、家族などの介護を受けて暮らしたい」が 42.8%で最も多く、次いで「今のところは、わからない」が 37.6%、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所して暮らしたい」が 7.8%となっています。
【性・年齢】
○ 女性 前期高齢者では、「わからない」が 29.4%と他の区分に比べて少なく、「自宅で、介護保険サービスを利用して、家族などの介護を受けて暮らしたい」が 61.8%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】
○ 塩屋・西部圏域では、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所して暮らしたい」が 12.4%と他の圏域に比べて多くなっています。

【希望する今後の生活】



【要介護度】

- 要介護度が上がるほど「今のところはわからない」が少なく、「自宅で、介護保険サービスを利用して、家族などの介護を受けて暮らしたい」が多くなる傾向がみられます。
- 「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所して暮らしたい」は、要介護1・2、要介護3～5で約1割となっています。



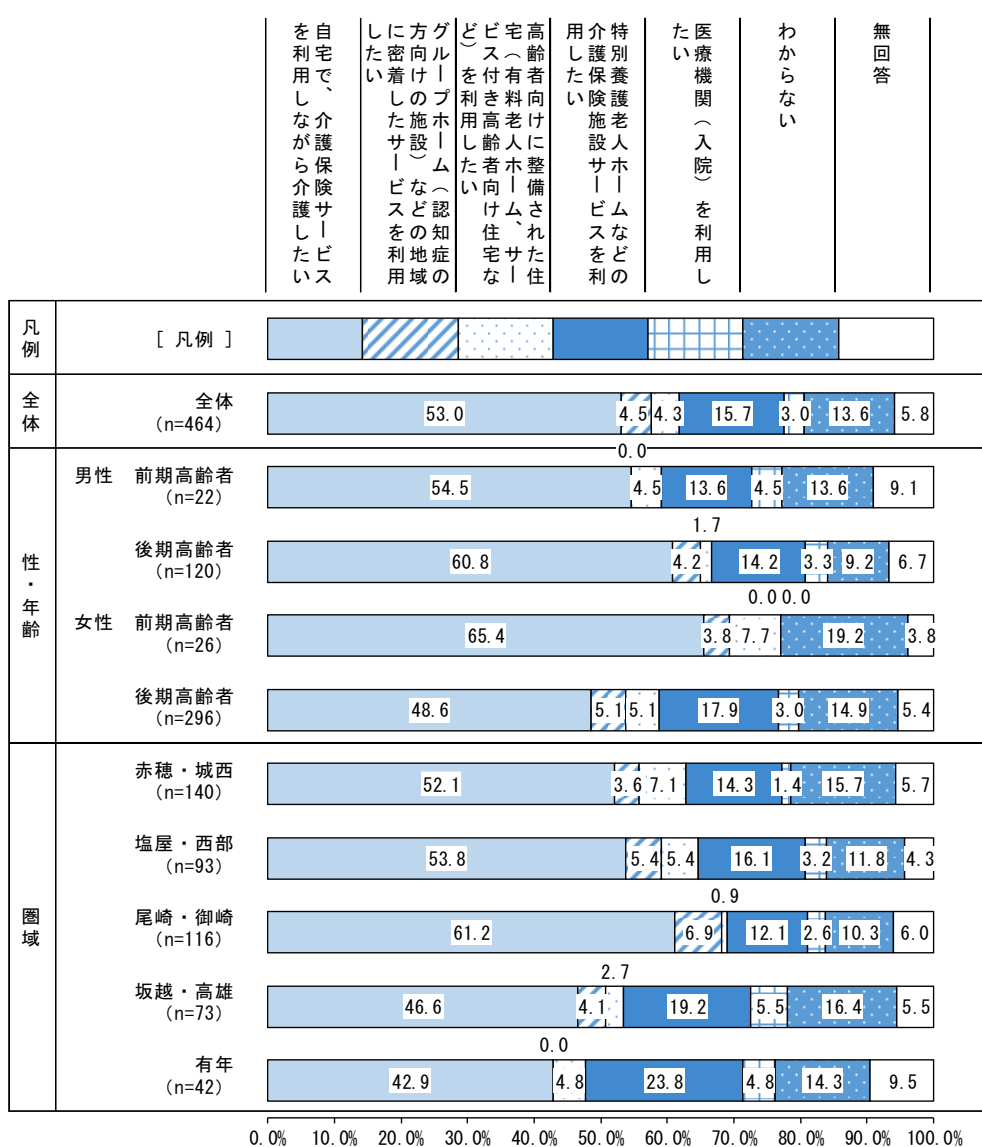
●問24 「家族、親族から介護を受けている方のみ」主な介護者の方は、今後の介護をどのようにしていきたいとお考えですか。（1つだけ）

【全体】
 ○ 今後の介護に関する主な介護者の意向について、「自宅で、介護保険サービスを利用しながら介護したい」が 53.0%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護保険施設サービスを利用したい」が 15.7%、「わからない」が 13.6%となっています。

【性・年齢】
 ○ 女性 後期高齢者では、調査の対象者本人の回答では「わからない」が他の区分に比べて少なくなっているのに対し、主な介護者の回答では他の区分に比べて多くなっています。

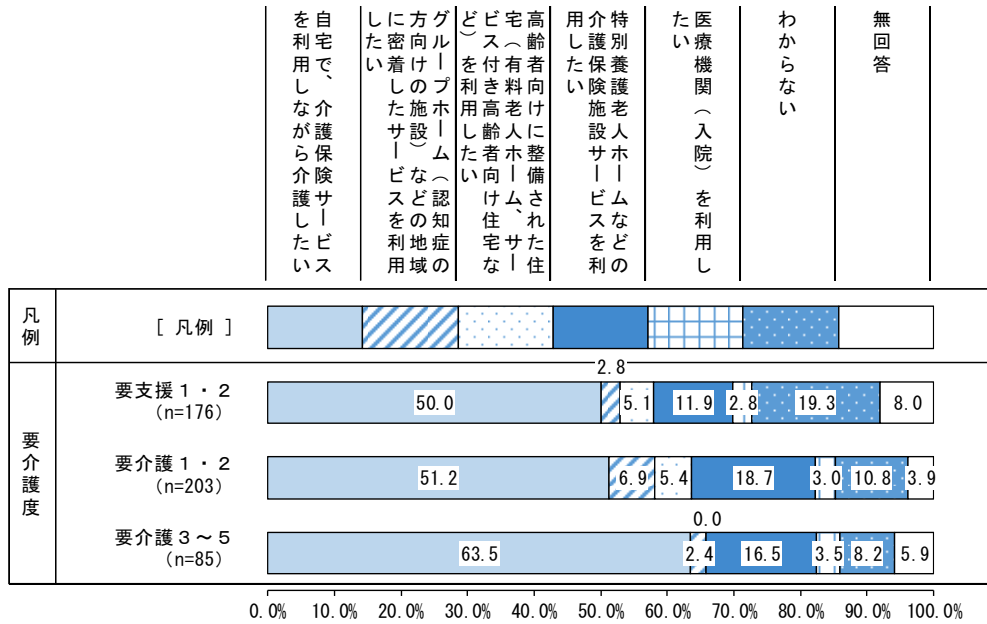
【圏域】
 ○ 坂越・高雄圏域、有年圏域では、「自宅で、介護保険サービスを利用しながら介護したい」が他の圏域に比べて少なくなっています。

【今後の介護に関する主な介護者の意向】



【要介護度】

- いずれの要介護度でも調査の対象者本人の回答に比べて「わからない」が少なくなっています。
- 要支援1・2、要介護1・2では調査の対象者本人の回答に比べて「自宅で、介護保険サービスを利用しながら介護したい」が多くなっているのに対し、要介護3～5では同程度となっています。
- 「特別養護老人ホームなどの介護保険施設サービスを利用したい」は、要介護1・2で18.7%、要介護3～5で16.5%となっています。



6. 在宅生活継続に向けた5つの検討項目における集計結果

本章では、国において、在宅介護実態調査を活用した5つの検討項目についての集計を掲載しています。5つの検討項目と集計・分析のねらいは以下の通りとなっています。

検討項目	集計・分析のねらい
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	主に「施設の入所・入居の検討状況」「介護者が不安に感じる介護」「サービス利用状況」を指標とし、在宅生活の継続が困難になり得る状況と、利用によって介護者負担が軽減される可能性のあるサービスを把握することで、在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制を検討するための資料とする。
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの検討	主に「主な介護者の勤務形態」「今後の仕事と介護の両立見込み」を指標とし、就労の継続が困難になり得る状況と、就労の継続に有効と思われる支援を把握することで、仕事と介護の両立に向けた支援・サービスを検討するための資料とする。
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	主に「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況」「在宅生活の継続に必要な支援・サービス」を指標とし、保険外の支援・サービスの現在の需要と供給のバランスを把握することで、今後の地域資源整備を検討するための資料とする。
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	主に「世帯類型」「サービス利用状況」「施設の入所・入居の検討状況」を指標とし、世帯類型ごとの特徴を把握することで、将来の世帯類型の変化に応じて支援・サービスの提供体制を検討するための資料とする。
(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	主に「医療面での対応を行っている介護者」「訪問診療の利用状況」を指標とし、医療ニーズの高い在宅療養者と、訪問診療を利用する人の特徴を把握することで、医療ニーズの高い在宅療養者への支援・サービスの提供体制を検討するための資料とする。

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 認定データと突合ができない回答及び無回答を除いた集計となっています。
2. 介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」「通所系」「短期系」の3つに分類して集計しています。それぞれの用語の定義は以下の通りです。いずれも介護予防を含みます。
 - ・未利用：住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用
 - ・訪問系のみ：「訪問系（訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護）」、定期巡回・随時対応型訪問介護看護のいずれかのみを利用
 - ・訪問系を含む組み合わせ：上記「訪問系」、下記「通所系」、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護を組み合わせ利用
 - ・通所系・短期系のみ：「通所系（通所介護、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護）」、「短期系（短期入所生活介護、短期入所療養介護）」のいずれかのみを利用

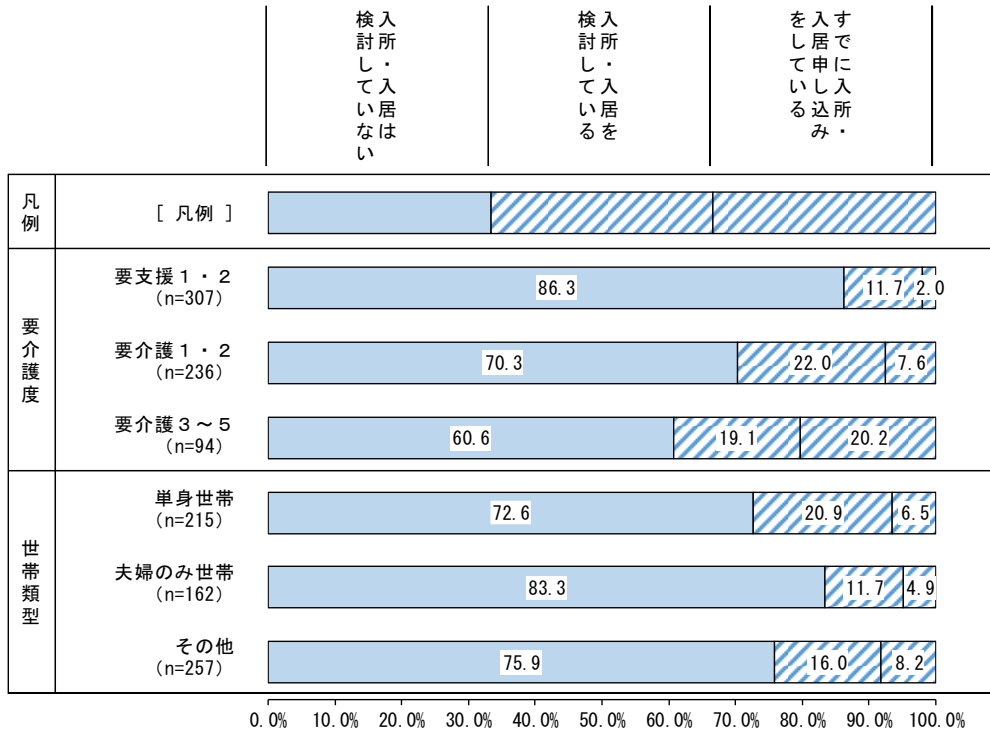
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

① 在宅生活の継続が困難になり得る状況

【要介護度】
 ○ 要介護3～5では、「入所・入居を検討している」が19.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が20.2%となっています。

【世帯類型】
 ○ 単身世帯では、「入所・入居を検討している」が20.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が6.5%となっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】

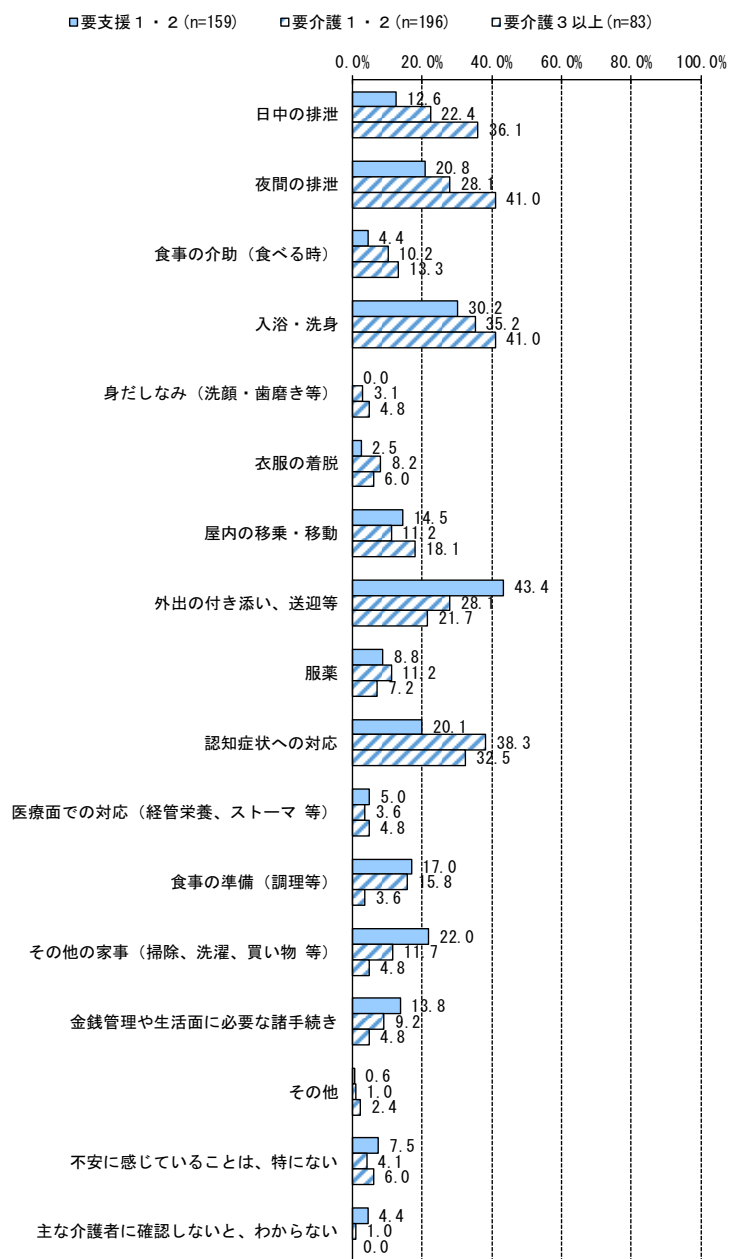


② 在宅限界点となり得る介護の内容

【要介護度】

- 要支援1・2では、「外出の付き添い、送迎等」が43.4%で最も多くなっています。
- 要介護1・2では、「入浴・洗身」「認知症状への対応」が3割以上と多くなっています。
- 要介護3～5では、「夜間の排泄」「入浴・洗身」が4割以上、「日中の排泄」「認知症状への対応」が3割以上と多くなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)】

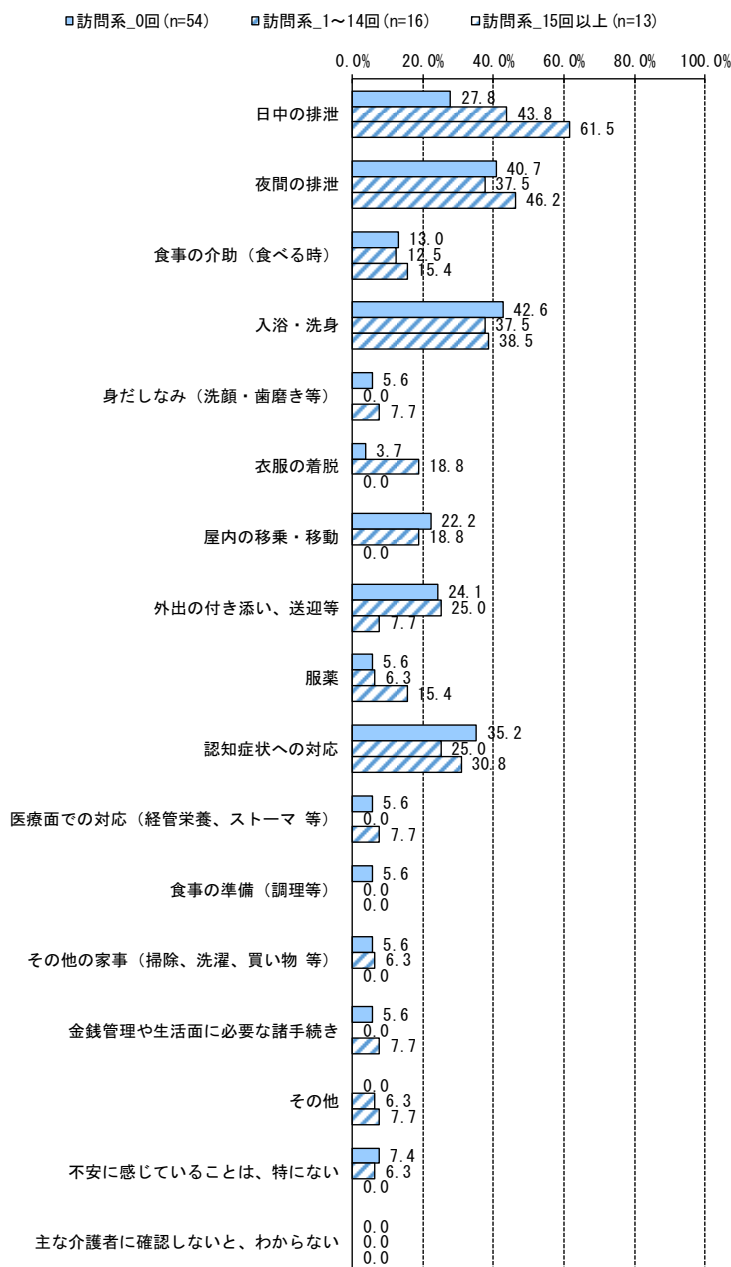


③ 在宅生活の継続に寄与する可能性のあるサービス

【訪問系サービスの利用回数（要介護3以上）】

- 要介護3以上で訪問系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「入浴・洗身」「屋内の移乗・移動」「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 訪問系サービスを月15回以上利用している人では14回以下の人に比べて、「外出の付き添い、送迎等」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が少なくなっています。

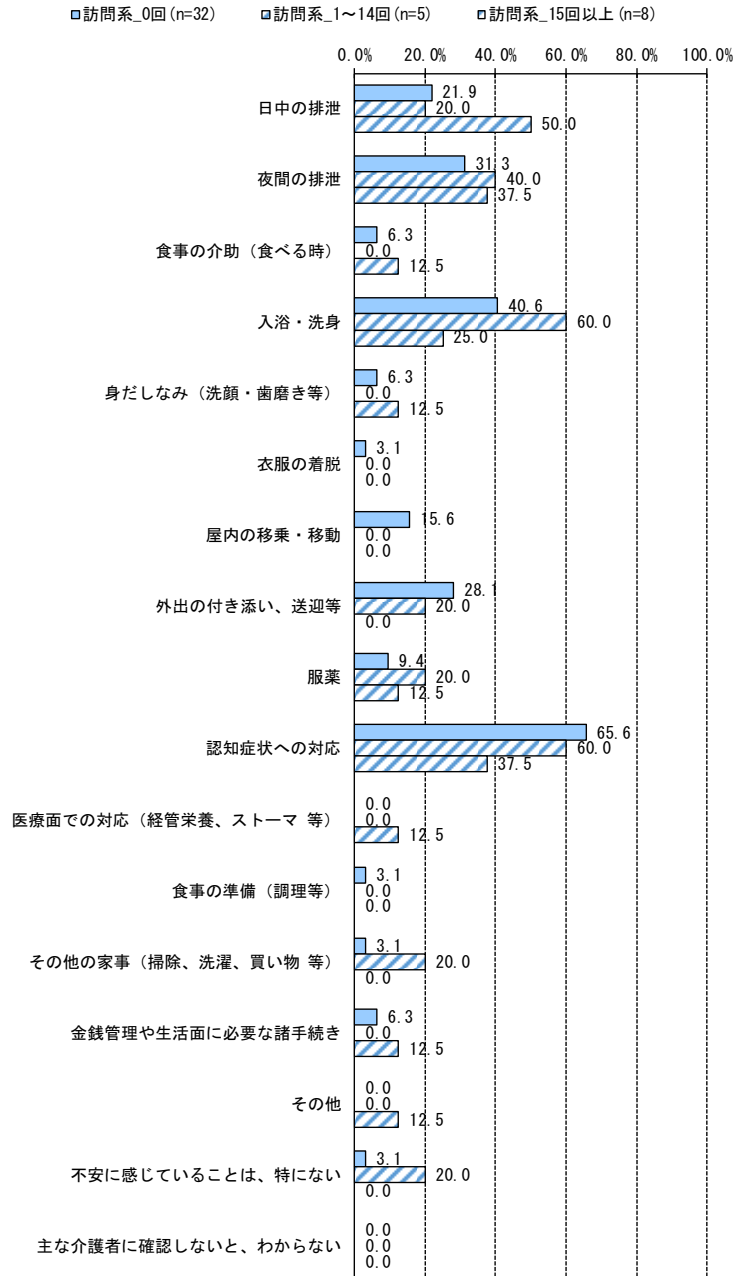
【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)（要介護3以上）】



【訪問系サービスの利用回数（認知症自立度Ⅲ以上）】

- 認知症自立度Ⅲ以上で訪問系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 訪問系サービスを月15回以上利用している人では14回以下の人に比べて、「入浴・洗身」が少なくなっています。

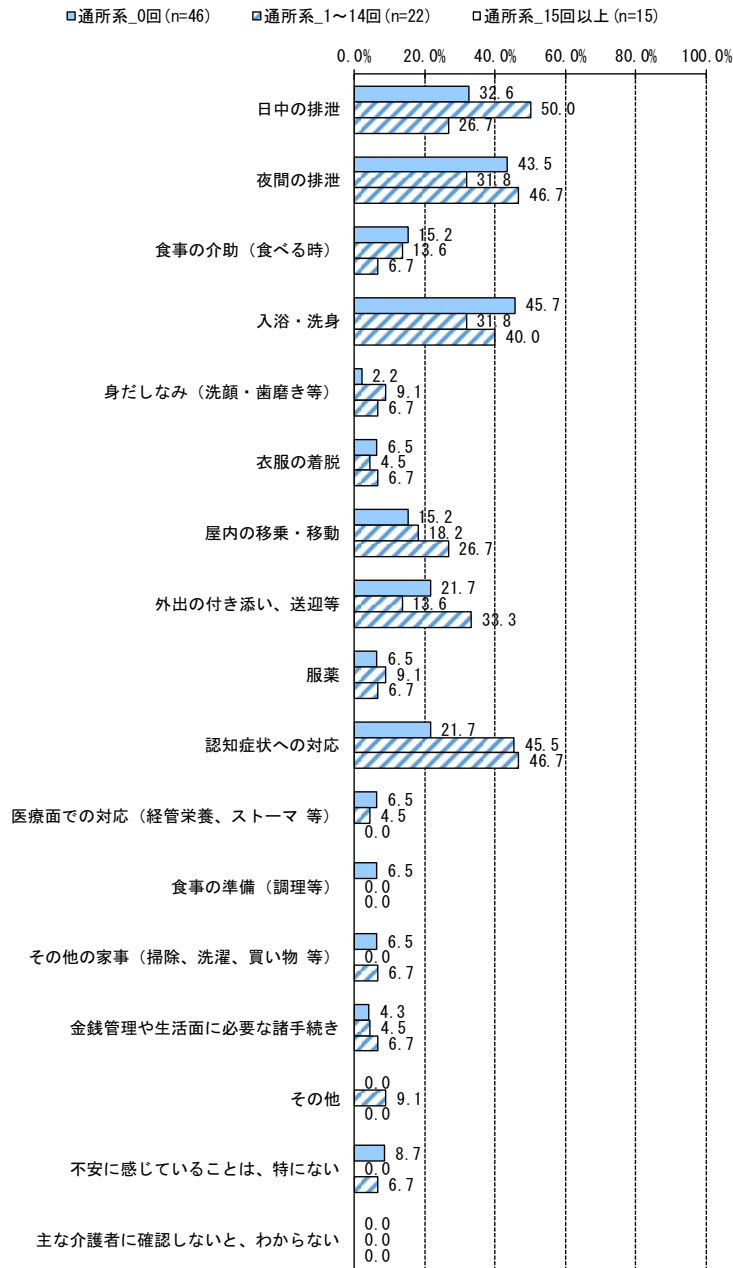
【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)（認知症自立度Ⅲ以上）】



【通所系サービスの利用回数（要介護3以上）】

- 要介護3以上で通所系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「食事の介助（食べる時）」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」「食事の準備（調理等）」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 通所系サービスを月15回以上利用している人では14回以下の人に比べて、「日中の排泄」が少なくなっています。

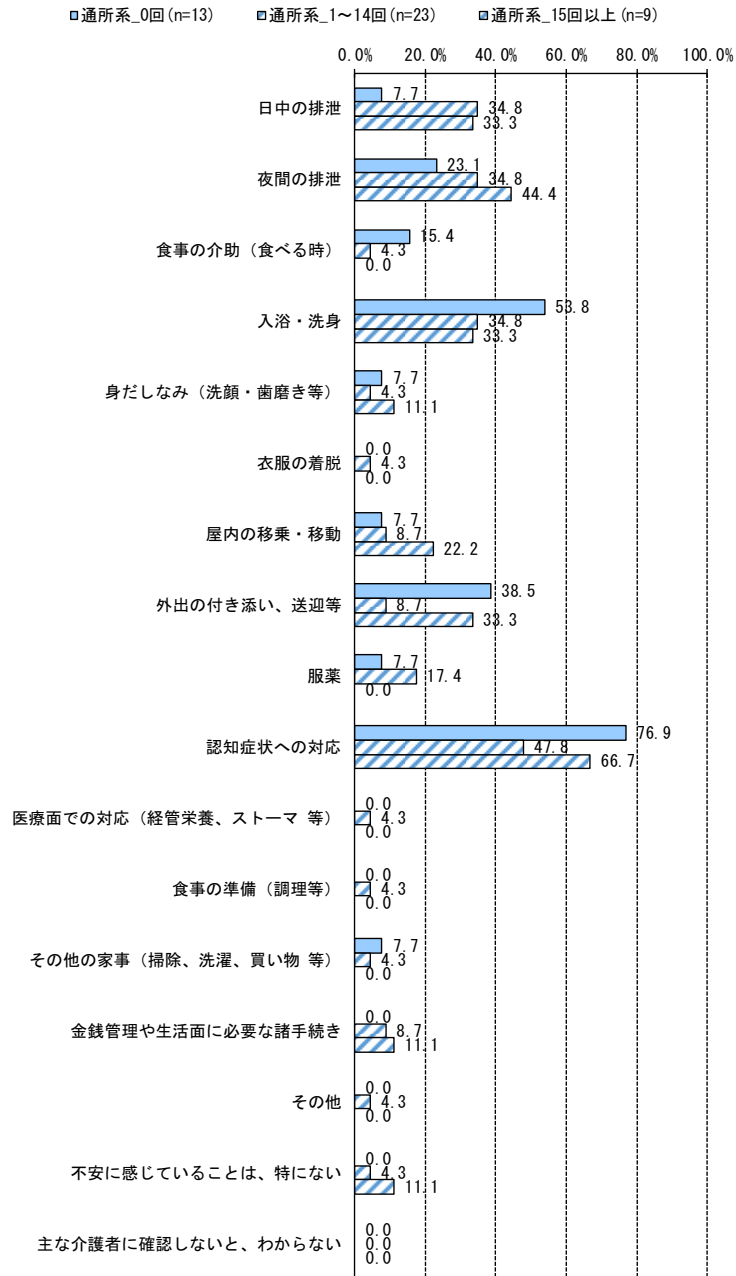
【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)（要介護3以上）】



【通所系サービスの利用回数（認知症自立度Ⅲ以上）】

○ 認知症自立度Ⅲ以上で通所系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「食事の介助（食べる時）」「入浴・洗身」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。

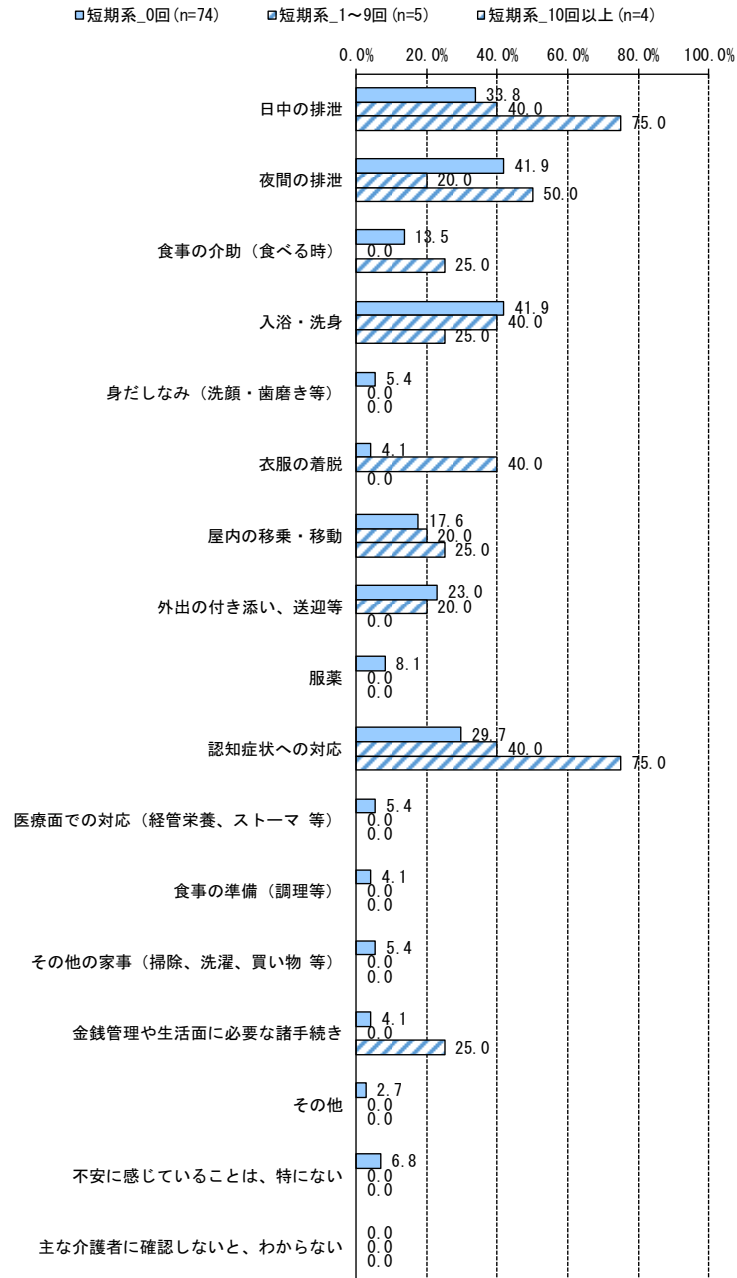
【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)（認知症自立度Ⅲ以上）】



【短期系サービスの利用回数（要介護3以上）】

- 要介護3以上で短期系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「服薬」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 短期系サービスを月10回以上利用している人では9回以下の人に比べて、「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」が少なくなっています。

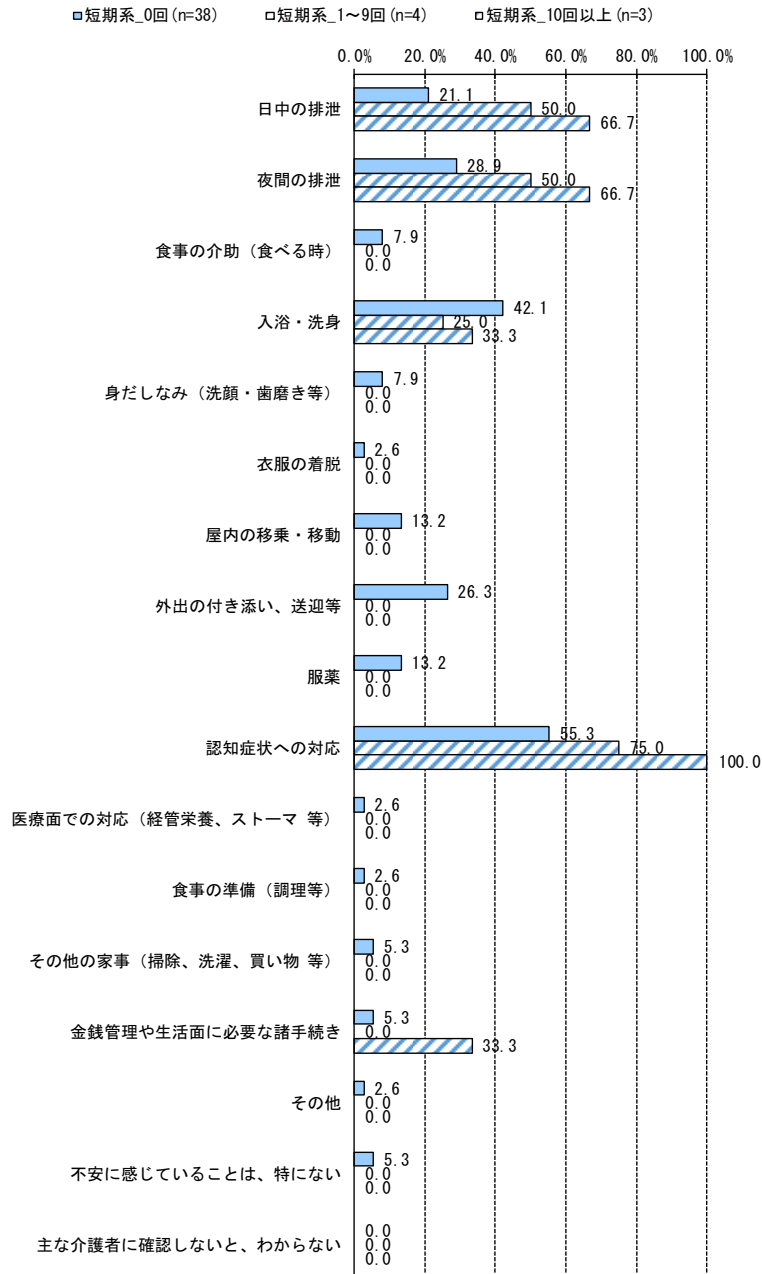
【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)（要介護3以上）】



【短期系サービスの利用回数（認知症自立度Ⅲ以上）】

○ 認知症自立度Ⅲ以上で短期系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「日中の排泄」「夜間の排泄」「認知症状への対応」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」以外の項目で不安を感じる介護者の割合が少なくなっています。

【主な介護者が不安を感じる介護等(3LA)（認知症自立度Ⅲ以上）】

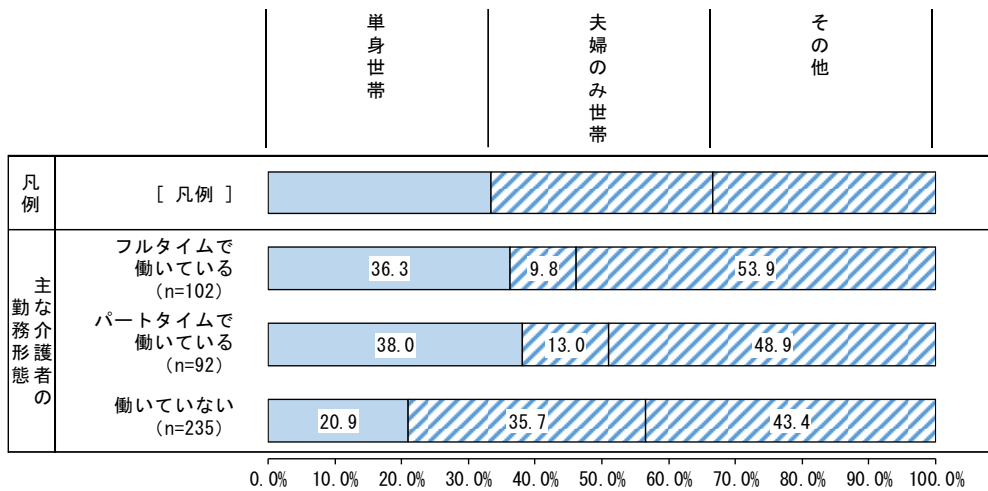


(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの検討

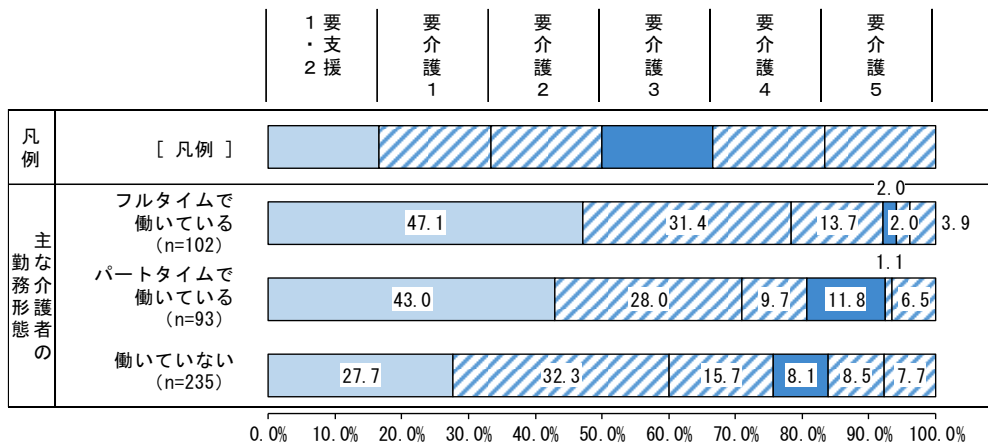
① 就労継続が困難になり得る状況

<p>【調査の対象者の世帯類型】</p> <p>○ 「単身世帯」は、フルタイムで働いている人では 36.3%、パートタイムで働いている人では 38.0%となっています。</p> <p>【調査の対象者の要介護度】</p> <p>○ 勤務時間が短くなるほど要介護1以上が多くなる傾向がみられます。パートタイムで働いている人では要介護3、働いていない人では要介護4が他の区分に比べて多くなっています。</p>

【調査の対象者の世帯類型】



【調査の対象者の要介護度】



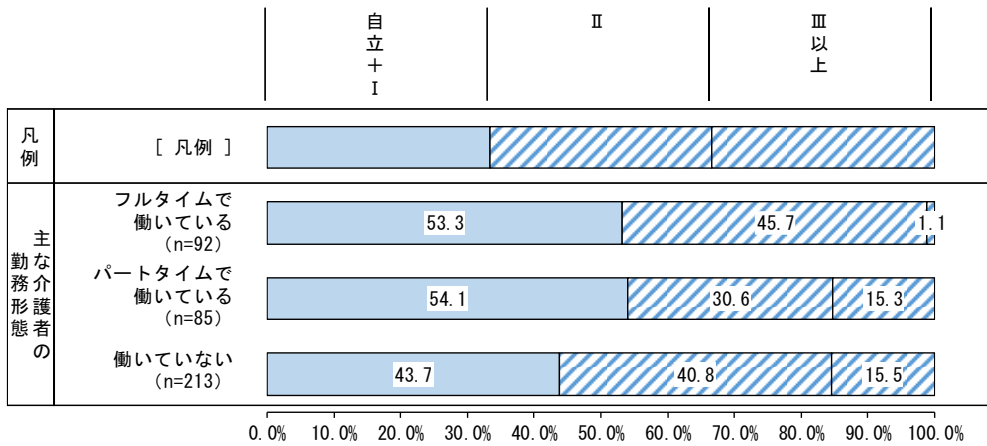
【調査の対象者の認知症自立度】

- フルタイムで働いている人では、「Ⅲ以上」が 1.1%であるのに対し、パートタイムで働いている人では 15.3%、働いていない人では 15.5%となっています。
- 働いていない人では、「Ⅱ以上」が他の区分に比べて多くなっています。

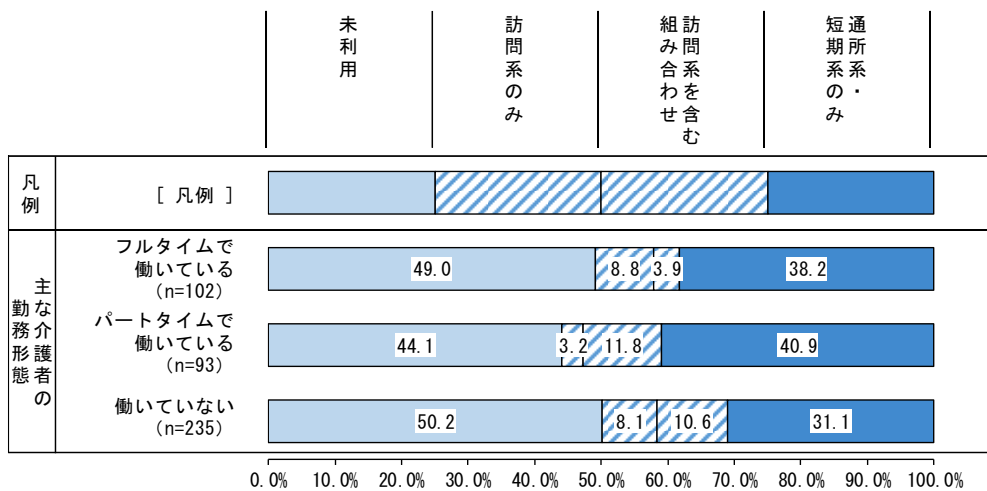
【サービス利用の組み合わせ】

- 働いている人では働いていない人に比べて「通所系・短期系のみ」が多くなっています。
- 働いていない人では、「未利用」が 50.2%となっています。

【調査の対象者の認知症自立度】



【サービス利用の組み合わせ】



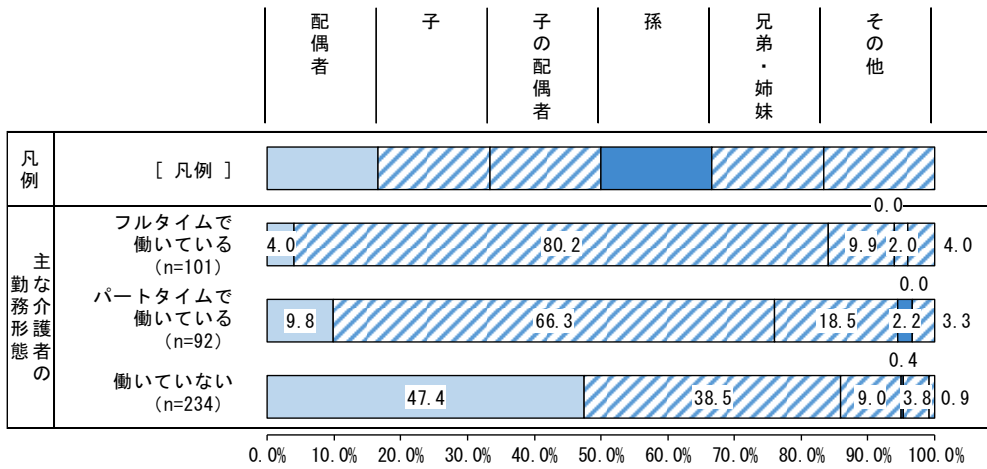
【主な介護者】

○ 勤務時間が長くなるほど「配偶者」が少なく「子」が多くなる傾向がみられます。

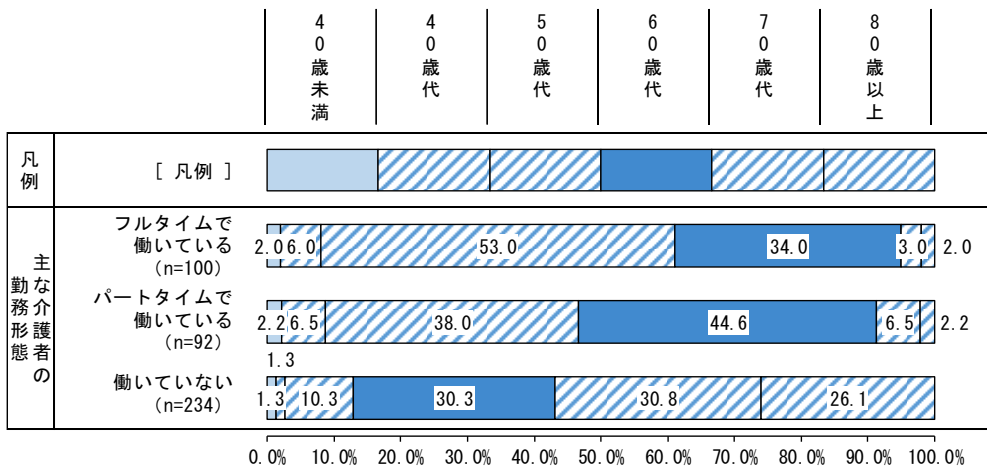
【主な介護者の年齢】

○ 勤務時間が短くなるほど高齢になる傾向がみられます。

【主な介護者】



【主な介護者の年齢】

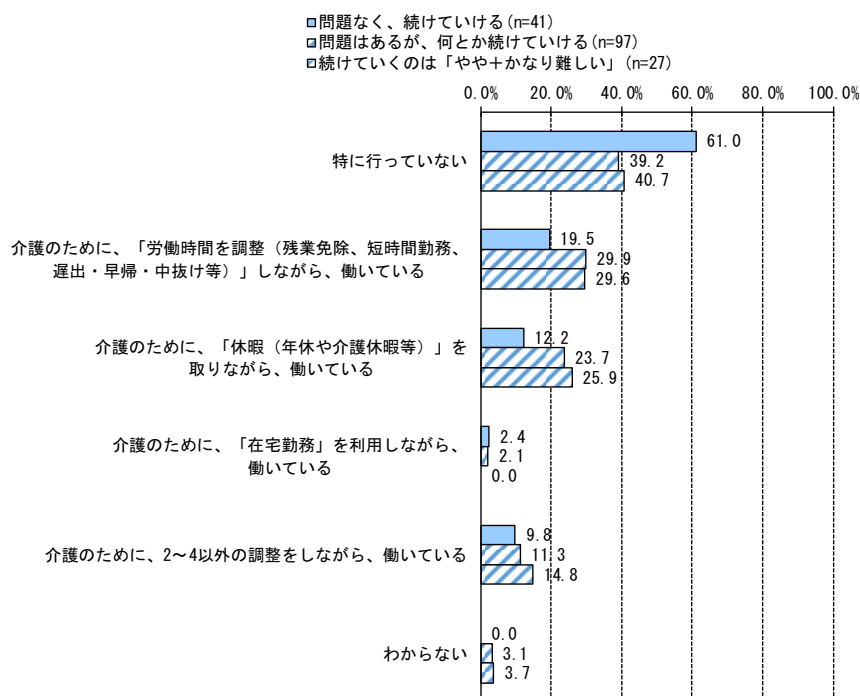


② 就労継続のために必要な支援

【今後の仕事と介護の両立】

- 問題なく、続けていける人では「特に行っていない」が 61.0%であるのに対し、問題はあるが、何とか続けていける人、続けていくのは「やや+かなり」難しい人では約4割となっています。
- 問題はあるが、何とか続けていける人、続けていくのは「やや+かなり」難しい人では、いずれの項目でもほぼ同数となっています。また、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が2割以上と多くなっています。

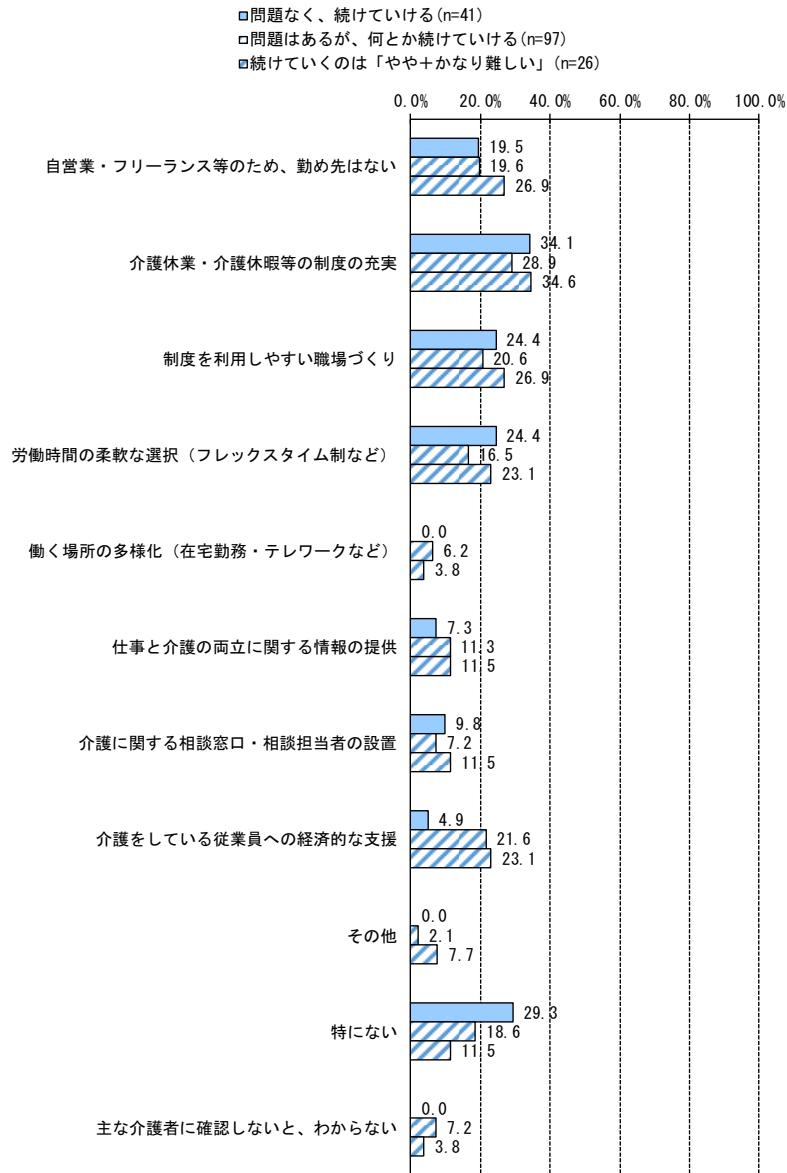
【働き方の調整(MA)】



【今後の仕事と介護の両立】

- 就労の継続が難しくなるほど「特にない」が少なくなる傾向がみられます。
- 「介護をしている従業員への経済的な支援」は、問題なく、続けていける人では4.9%であるのに対し、問題はあるが、何とか続けていける人、続けていくのは「やや+かなり」難しい人では2割以上となっています。

【仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援(3LA)】



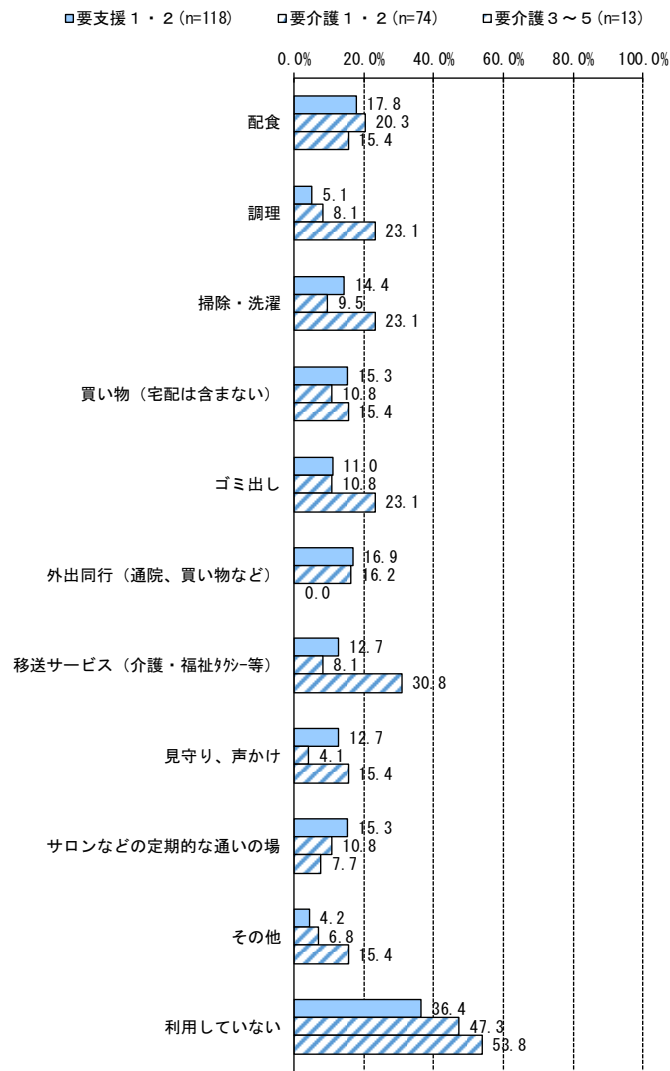
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

① 保険外の支援・サービスの利用状況

【要介護度（単身世帯）】

- 単身世帯では、要介護度が上がるほど「利用していない」が多くなる傾向がみられます。
- 要介護3～5では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.8%で最も多く、次いで「調理」「掃除・洗濯」「ゴミ出し」が23.1%となっています。

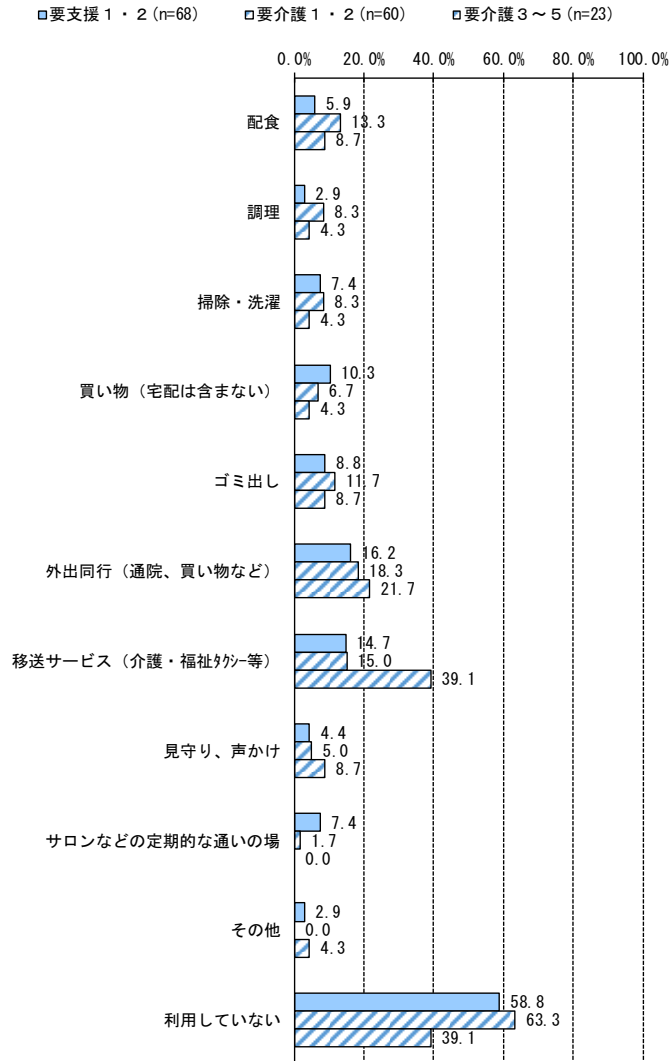
【「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況(MA)（単身世帯）】



【要介護度（夫婦のみ世帯）】

- 夫婦のみ世帯では、要介護3～5で「利用していない」が39.1%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 要介護3～5では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が39.1%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が21.7%となっています。

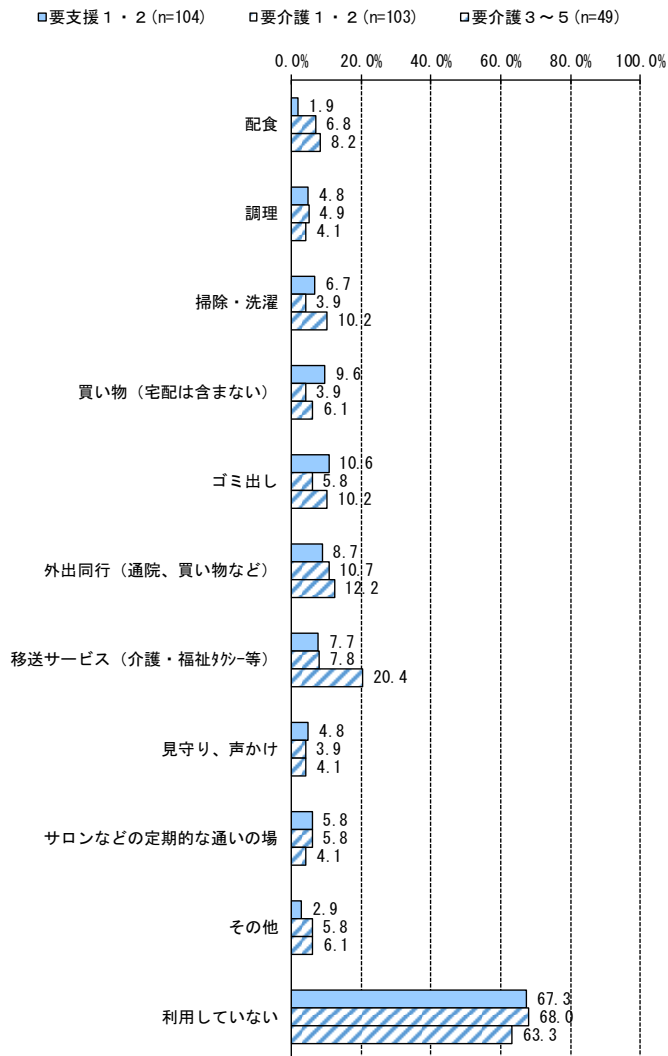
【「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況(MA)（夫婦のみ世帯）】



【要介護度（その他世帯）】

- その他世帯では、要介護3～5で「利用していない」が63.3%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 要介護3～5では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.4%で最も多くなっています。

【「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況(MA)（その他世帯）】

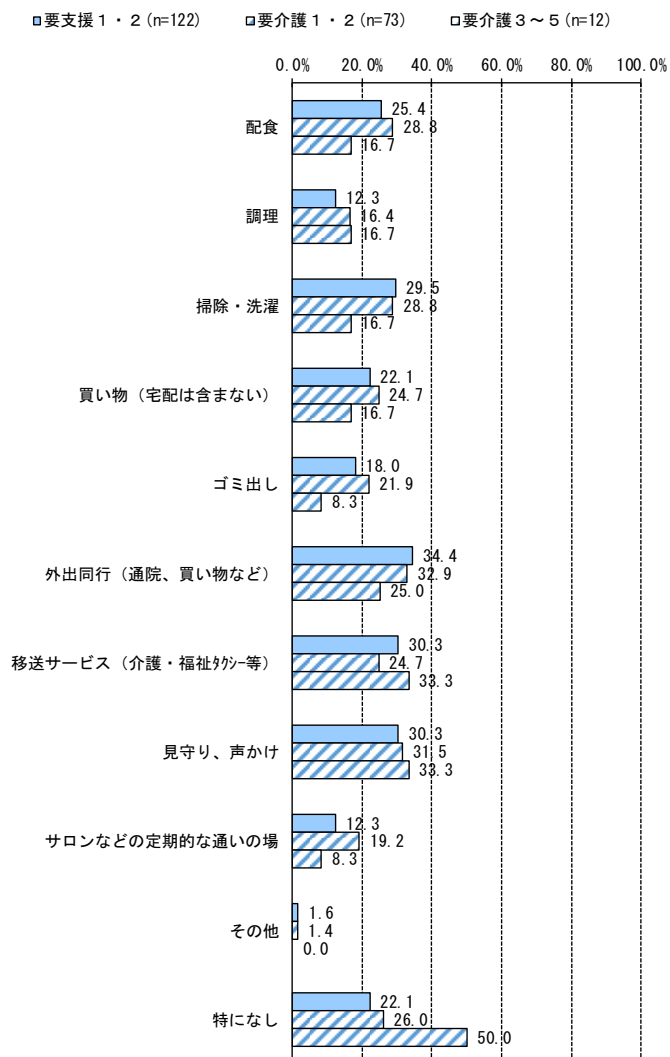


② 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

【要介護度（単身世帯）】

- 単身世帯では、要介護3～5で「特になし」が50.0%と他の区分に比べて多くなっています。また、他の世帯に比べても多くなっています。
- 要支援1・2、要介護1・2では、ほとんどの項目で現在利用している割合を上回っています。
- 要介護3～5では、「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」で現在利用している割合を上回っています。

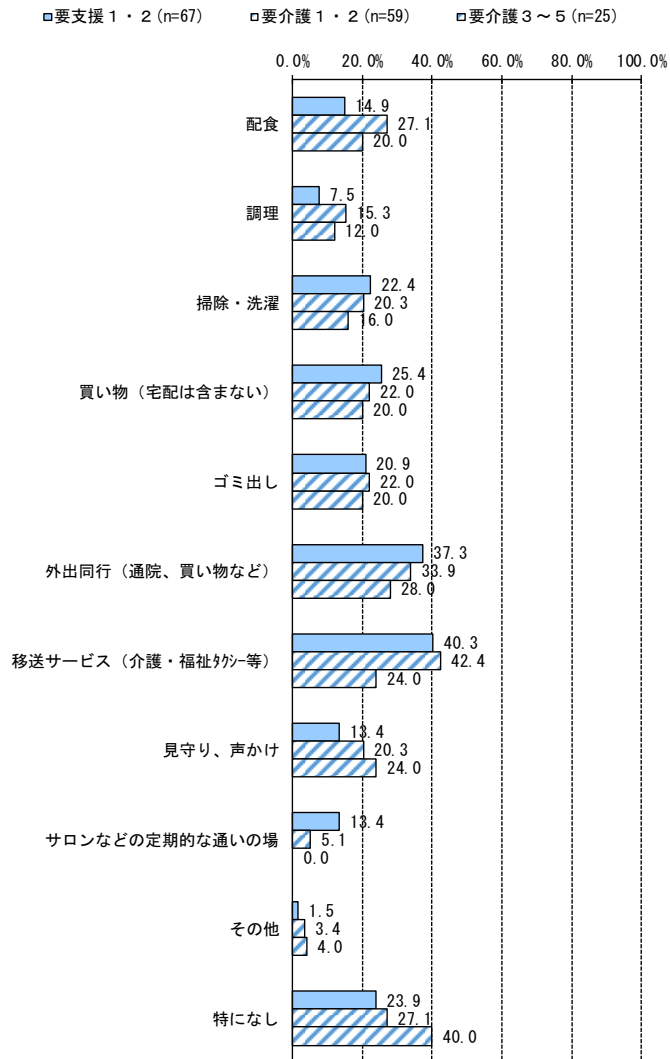
【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)（単身世帯）】



【要介護度（夫婦のみ世帯）】

- 夫婦のみ世帯では、要介護3～5で「特になし」が40.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 要支援1・2、要介護1・2では、いずれの項目でも現在利用している割合を上回っています。
- 要介護3～5では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」以外の項目で現在利用している割合を上回っています。

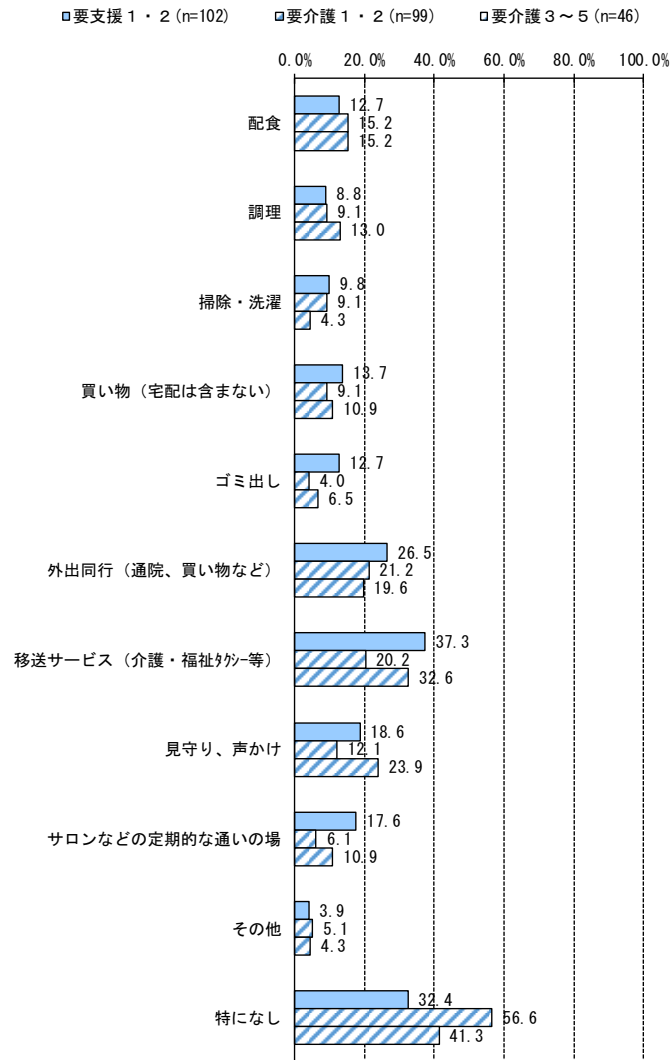
【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)（夫婦のみ世帯）】



【要介護度（その他世帯）】

- その他世帯では、要介護1・2で「特になし」が56.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 要支援1・2、要介護1・2では、ほとんどの項目で現在利用している割合を上回っています。特に「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が多くなっています。
- 要介護3～5では、「掃除・洗濯」「ゴミ出し」以外の項目で現在利用している割合を上回っています。特に「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」が多くなっています。

【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)（その他世帯）】

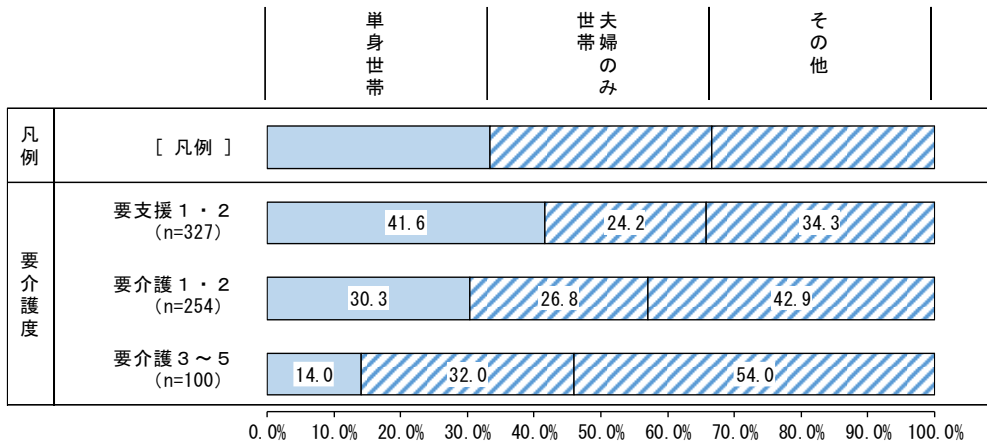


(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

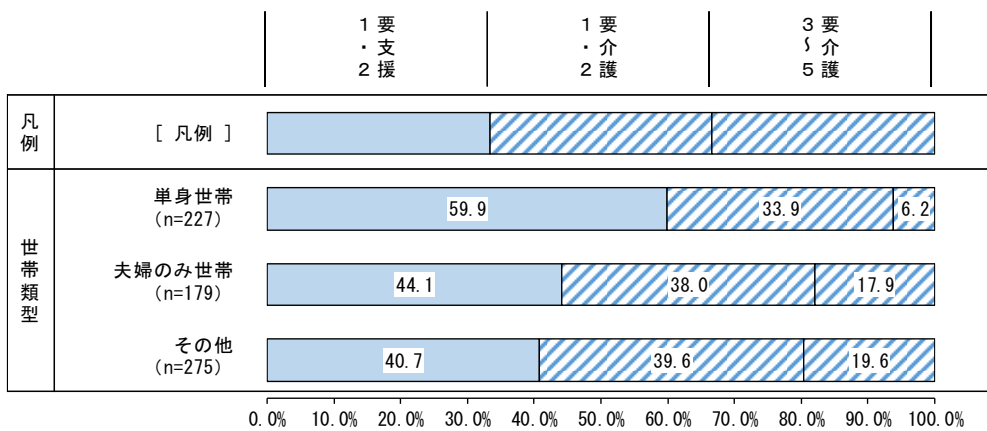
① 世帯類型と要介護度

【要介護度】
 ○ 要介護度が上がるほど「単身世帯」が少なくなる傾向がみられます。
【世帯類型】
 ○ 「要介護3～5」は、単身世帯では6.2%、夫婦のみ世帯では17.9%、その他世帯では19.6%となっています。

【世帯類型】



【要介護度】

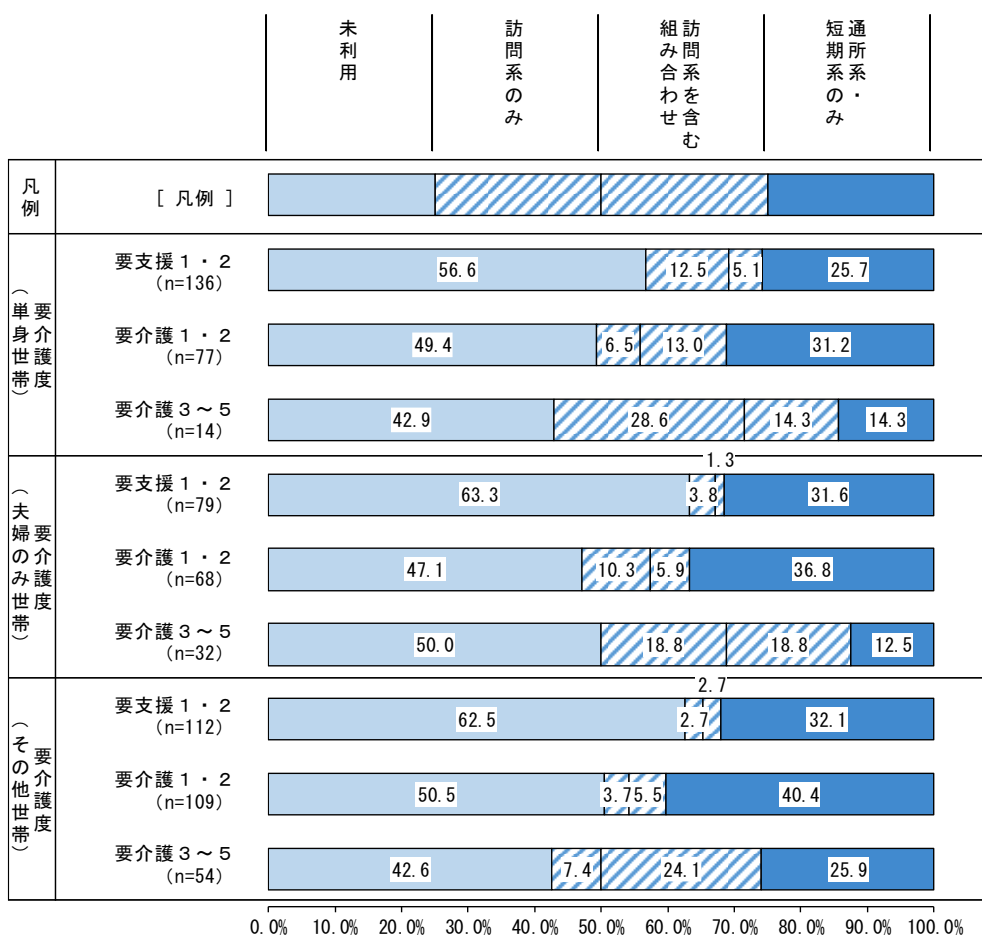


② 世帯類型ごとのサービス利用の特徴

【要介護度（世帯類型別）】

- 単身世帯では他の世帯に比べて、要支援1・2の「未利用」が少なくなっています。また、要介護3～5の「訪問系のみ」が多くなっています。
- 夫婦のみ世帯では他の世帯に比べて、要介護3～5の「未利用」が多くなっています。また、要支援1・2、要介護1・2では単身世帯に比べて「通所系・訪問系のみ」が多くなっています。

【サービス利用の組み合わせ】

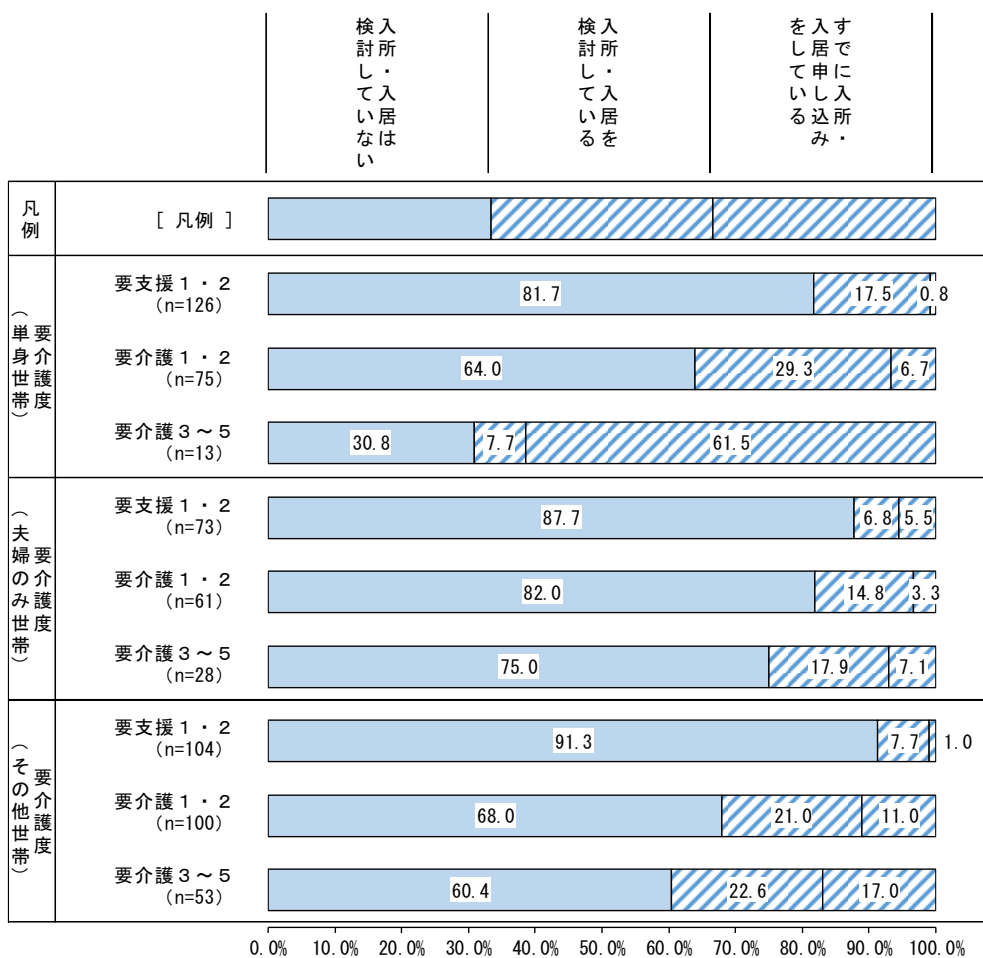


③ 世帯類型ごとの施設等のニーズ

【要介護度（世帯類型別）】

- 単身世帯では、いずれの要介護度でも「入所・入居は検討していない」が少なくなっています。特に要介護3～5で「すでに入所・入居申し込みをしている」が61.5%と多くなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】



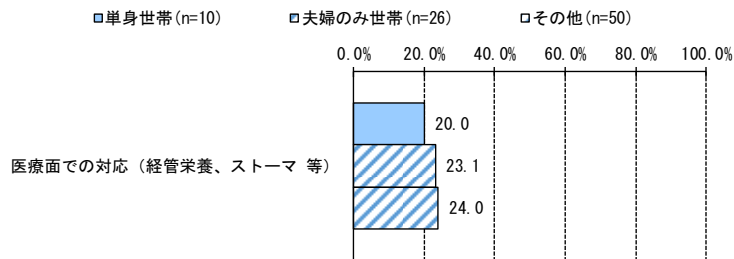
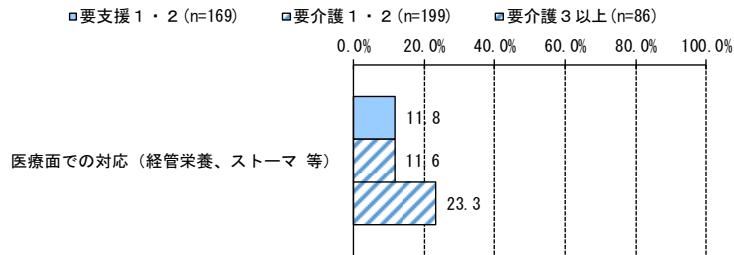
(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

① 医療ニーズの高い在宅療養者

【要介護度】
 ○ 要支援1・2、要介護1・2では「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」を行っている人は約1割であるのに対し、要介護3～5では23.3%となっています。

【世帯類型（要介護3以上）】
 ○ いずれの世帯類型でも約2割となっています。

【主な介護者が行う介護(MA)（医療面での対応のみ抜粋）】



② 訪問診療利用者におけるサービス利用の特徴

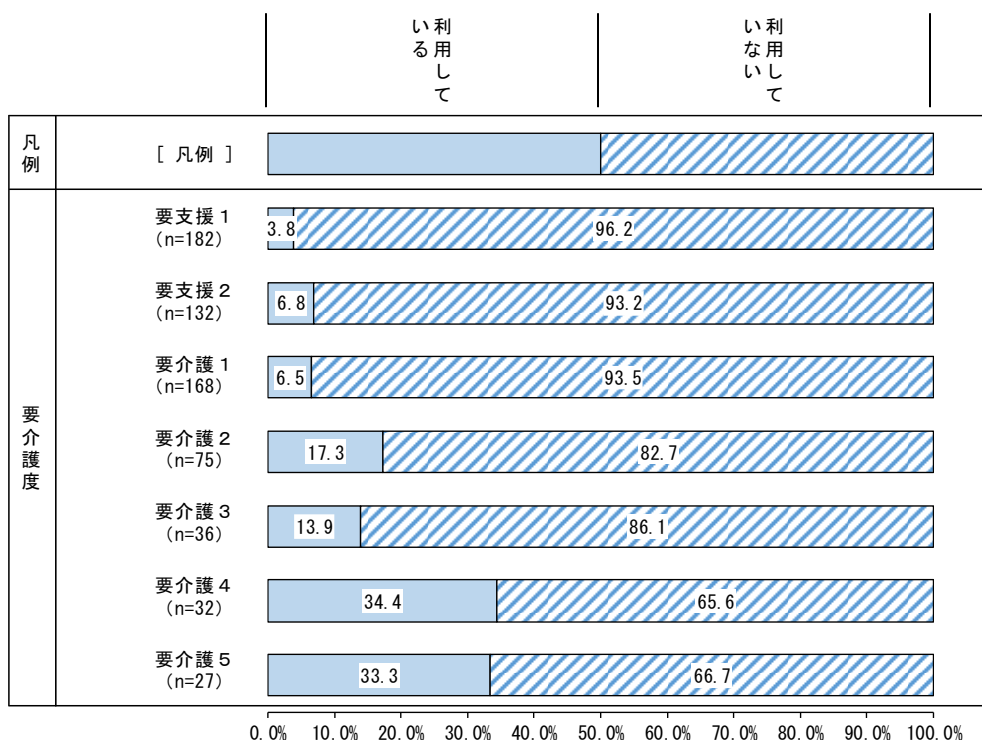
【要介護度】

- 「利用している」は、要介護1以下では1割未満、要介護2、要介護3では約1～2割、要介護4以上では3割以上となっています。

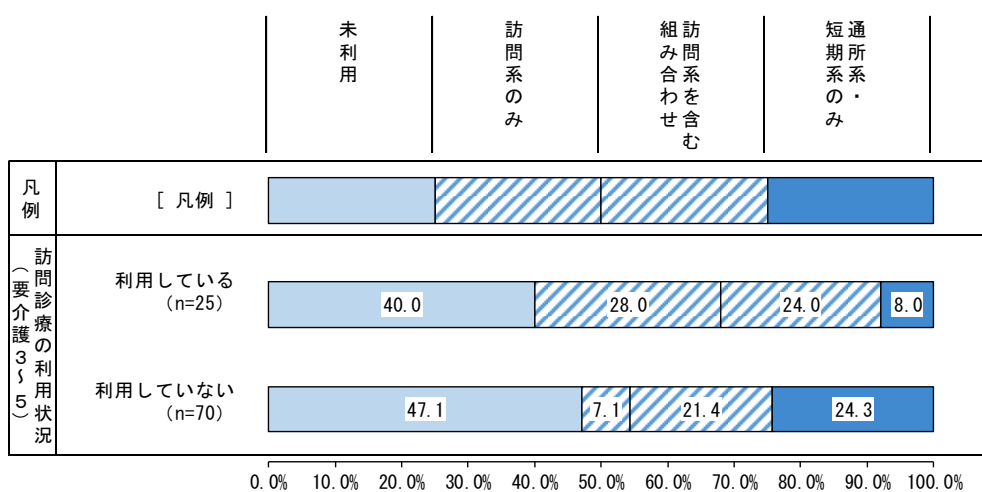
【サービスの利用状況（要介護3以上）】

- 要介護3以上で訪問診療を利用している人では利用していない人に比べて、「訪問系のみ」が多くなっています。

【訪問診療の利用状況】



【サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）】



(6) 総括

① 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

- 施設への入所・入居の検討状況をみると、要介護者が要介護1以上の状態となることが在宅限界点となり得ることがうかがえます。また、単身世帯では他の世帯に比べて施設への入所・入居を検討もしくはすでに申し込んでいる人が多くなっています。
- 要介護度が上がるほど「家族の不安・心理的負担が増えること」や「主な介護者の身体状態の悪化」が在宅介護の困難要因になると回答している人が多くなっています。さらに、要介護3以上では本人・介護者ともに自宅での介護を希望する人が半数以上となっています。これらのことから、要介護1以上での介護者負担を軽減することが在宅限界点の向上につながると考えられます。
- 主な介護者が不安に感じる介護として回答の多い「入浴・洗身」は訪問系（認知症Ⅲ以上の場合は15回以上）・短期系10回以上の利用、「日中の排泄」は通所系15回以上の利用、「認知症状への対応」は訪問系の利用によって、介護者の負担が軽減される可能性が示唆されます。一方で「夜間の排泄」に対しては訪問系・通所系・短期系サービスの利用による負担軽減の可能性は低く、24時間対応サービス等での支援が必要と考えられます。

② 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの検討

- 主な介護者の勤務形態をみると、要介護者が要介護1以上の状態となると仕事と介護の両立に問題が生じる可能性が高く、特に要介護4以上になるとパートタイムであっても就労継続が難しい状況がうかがえます。また、認知症自立度Ⅲ以上の人を介護している場合においては、フルタイムでの就労はほぼ不可能な状態に近いと考えられます。
- 勤務先において、介護のための「労働時間の調整」や「休暇の取得」ができる環境であることは大前提として必要である上に、現在問題を抱えながら仕事と介護の両立をしている人からは「従業員への経済的な支援」も求められています。

③ 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

- 保険外サービスの利用状況と在宅生活の継続に必要なサービスをみると、世帯類型によらず要介護2以下では保険外サービスが行き届いていない可能性があります。特に、夫婦のみ世帯では他の世帯に比べて移送サービスのニーズが高くなっています。また、単身世帯では要介護度によらず見守り・声かけのニーズが他の世帯に比べて高くなっています。地域資源の整備を検討するにあたっては、上記の層に対する支援・サービスの拡充が必要と考えられます。

④ 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

- 単身世帯では、他の世帯に比べて要介護度が軽度なうちから介護保険サービスを利用する人が多く、要介護3以上では約6割が施設への入所・入居を申し込んでいます。
- 夫婦のみ世帯では、単身世帯に比べて要介護度が高い人が多くなっています。また、要介護3以上で介護保険サービスを利用していない人が他の世帯に比べて多くなっています。
- これらのことを踏まえ、今後の世帯類型の推移に合わせたサービスの検討を行う必要があります。

⑤ 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

- 主な介護者が行っている介護をみると、要介護3以上の約2割が「医療面での対応」を行っており、この層が医療ニーズのある在宅療養者であると考えられます。
- 在宅療養者向けサービスである訪問診療は、要介護4以上で3割が利用しています。また、訪問診療を利用している人では利用していない人に比べて訪問系サービスを利用している人が多くなっていることから、今後訪問系サービスの整備を検討する際には考慮しておく必要があります。
- 要介護3以上では本人・介護者ともに今後も自宅での介護を希望する人が半数以上となっています。今後生産年齢人口が減少していく中で高まる在宅医療ニーズに対応していくため、医療と介護の連携をより一層推進するとともに、かかりつけ医機能が発揮される制度整備等を行い、患者・利用者の視点に立った医療・介護の提供体制を構築する必要があります。